

◎5月例会（生涯学習サロン、野外セミナーを兼ねる）

日 時 1998年5月14日（木）午前10時～午後4時

場 所 村内美術館、東京富士美術館、八王子市こども科学館

出席者 会員 31名 サロン会員 38名 バス2台に分乗

研修内容

①村内美術館

会長、地域奉仕委員長挨拶の後、村内館長、山本学芸員の解説で、バルビゾン派、印象派の代表的作家による作品を鑑賞、終了後レストラン「ループル」にて昼食

②東京富士美術館

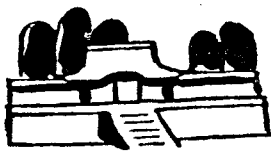
三浦館長、百田学芸員の解説で「ロバート・キャパ全作品展PART 2 戦禍への挑戦」を鑑賞、併せて「西洋絵画の名作＝ルネッサンスから印象派（収蔵品）」も鑑賞した。終了後記念撮影を行う。

③市こども科学館

プラネタリウム内で1時間 星座と生物の生態に関する画像を楽しんだ。

16時、予定通り全行事を終了、野口副会長の挨拶で閉会解散した。天候も終日薄曇り状態、気温も22度程度で恵まれた一日であった。





円通寺の借景

北原 満夫

損害保険会社に入社して27年、この業界では珍しく東京本社勤務が続く。それが50才を目前にしたところで京都転勤を命じられた。京都はもとより関西には全くと言ってよい程係わりが無く、学生時代に一日京都観光をしたのと万博の時に訪れた位のそれこそ『関西音痴』である。唯、歴史には多少興味があったのでこの機会に仕事もさることながら出来る限りの京都の歴史探訪を試みようと思ひ勇躍(?)心弾ませて赴任した。何しろ千年の古都であり至る処に歴史の面影が後を残しており、暇を見つけてと言うより作って飛び歩いた。特に千数百を数える社寺仏閣を一つ一つ丹念に見て回る中で、金閣寺の舍利殿や南禅寺の三門と言った華麗な建築もさることながら何よりも心を引き付けられたのが洛北の円通寺の庭園であった。

円通寺は1649年、時の後水尾天皇が離宮として造営されたものの、修学院離宮が出来たため不要となり、後に禅寺に改められたもの。庭園そのものは竜安寺の石庭や西芳寺のそれとは比ぶべきもないが、比叡山の雄大な全景を見事に取り入れ、その借景の大胆なこと巧みなことは数多くの石を自然のままに伏せた枯山水と相まって、私のようなセッカチで落ち着きのない者でも時間の経つのを忘れてただずむ程で、ここに来ると何故か気持ちりが和むのである。借景と言えば昔はあちこちで著名な処もあったが、ビルが建ったり電線が目に入ったりと往時の面影が無くなってゆく中でこの円通寺の借景は残された数少ないものの一つだろう。もっとも私がいた16、7年前のことで今はどうなっていることか、近々に訪れて見ようと思う。

幸いなことに住居が北大路を上がったところにあり、30分も歩けば行けたので出掛けた回数は十回を越えていただろう。

京都在住2年間、平安神宮の桜、平等院の藤、高雄神護寺の紅葉、そして雪の大原など四季折々の素晴らしい眺めを満喫して来ましたが、祇園のネオン花も私にとっては懐かしい思い出となりました。

追記 第二回『プロバス生涯学習サロン』も会員各位の絶大なご協力が無事終了することが出来ました。サロン実行委員としてこの紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

本当に有難うございました。 — 北原 —

◎平成10年定期総会報告

日 時 1998年6月11日（木）

場 所 なか安 3F会議室及び宴会場

出席者 会員 40名

○総会内容

1. 野口副会長開会の辞

本クラブはこれから3年目に入る、2年かけて土台作りが終わったので、今後益々の発展を期して会員諸氏の
一層のご活躍を期待する。

2. 物故された志茂会員に対して黙祷をささげる。

3. 藤野会長挨拶

徳川も三代を経て大成功した、二代目は初代や三代目に比べて大したことはないと言われて来た、尤も最近
はだんだん評価する声が出てきたが、私も皆様のご協力を得て、この一年を何とか過ごして来た。会員も47
名に拡充されてきた、更に一層の拡大を望みたい。

一番大きな行事であった学習サロンも無事に盛んに終わることが出来た。特に前年要望のあった「健康」或
いは「ボランティア」などのテーマも盛り込むことが出来た。立派な業績にたいし関係された皆様に謝意を
表したい。又ロータリークラブや他のプロバスクラブとの交流は未だ必ずしも十分とはいえ今後の充実を
期待したい。各地方より問い合わせもあり、資料を送っているの、これからであると思う。

4. 議事

議長に藤野会長を選び井口、石井（実）会員を書記に、清水、小林会員を署名人に指名して議事に移る。

1) 事業報告（立川幹事より）

別紙により報告

2) 役員選出

理事、会計監査が提案され承認された（内容配布別紙）

引き続き担当役員につき互選し、その結果が発表された（内容配布別紙）

3) 新年度予算案審議

今年度の実績の出る来月の例会に案を提出することとした。

4) 新年度運営方針

野口新会長より別紙の通り方針が発表された。その大意は以下の通り。

1) 例会を大事に、活発にしよう。

2) 会員数 現47名 質量共に拡充を計ろう。

3) 関奉仕団体（ロータリークラブ、プロバスクラブ）との交流を盛んにしよう

4) 社会への奉仕に一層努めよう、学習サロンの充実、その他の奉仕活動も。

5) 自分たちのプロバスクラブをもっとPRしよう。

会員和気あいあいと話し合い議論し、いろいろな行事をする事に期待する。

◎例会

本月で任期満了となる立川幹事と北原地域奉仕、加藤研修、平原情報、大高会員、松尾例会各委員長より退
任のあいさつがあった。



伊能忠敬に憶う

野口 正久

伊能忠敬は、五十才にして家督をその子に譲り隠居し、江戸に出て幕府天文方高橋至時（景保の父）に入門し、新たな道を歩始めた。

人生五十年と言われた当時リタイヤ再出発は、吾がプロバスクラブの六十オリタイヤ新天地開拓に符号する。その精神的実践力に魅力を感じる。忠敬の人間像は、昔、小学校修身で地図製作者の功を題材に、「精神一統、何事かならざらん」の格言にまとめ、治産・修学・敬師・勤勉の模範人間像として深く刻みこまれた。

今日再び忠敬が脚光を浴び、過日NHKが「シリーズ伊能忠敬の日本地図」①②を放映し「伊能図の背景の探索を試みたのを始め、江戸博で得展を開催し、佐原には新資料館が開館したという。

資料刊行も次々に行われ、千葉県は「伊能忠敬書状」を昭和五十七年に「伊能忠敬測量日記一」を昭和六十三年三月に各々刊行され、二、三の刊行予定もあるという。この様に原典刊行は、偉人伝作家・小説作家・ノンフィクション作家の刺激材となり、時代の要請も加わり再び脚光を浴びることとなった。

昭和五十八年現職をリタイヤし、千人同心史編集に携わることとなり、寛政十二年（1,800）蝦夷地の警備と開拓の任務を帯び八王子を出立した千人同心の二か月後に、忠敬も最初の測量地蝦夷地に旅立ったことを知り昭和五十九年十一月に忠敬の測量日記の原本から忠敬と同心の関係の有無と存在の確認をしたいと佐原の忠敬記念館を尋ねることにした。当時の日記に「十一月二十日、九時四十五分東京駅鹿島神宮行特急アヤメ十一時十八分佐原駅着 駅前の食堂で昼食、市役所に行くが社会教育は中央公民館と言う、十二時四十分中央公民館に、石井主事に会い来意を告げる、再び雨中を駅前で車を拾い忠敬記念館に向かう、途中忠敬の銅像を見る」と記録されている。記念館に着くと、久保木先生という方が一人で記念館を管理しておられた。日記に「久保木先生に合う、資料も用意してくれる。一時二十分頃より…」とあり。久保木先生のお世話で資料収集を始めたことが記してある。

資料収集は、許可された忠敬測量日記を写真に撮ることである、白い手袋をして、薄い和紙の小型の測量日記を一枚一枚めくり、手動巻上げの写真機で、巻取りに指が痛み、中腰の姿勢は腰が伸びない程痛む、閉館間際仕事中断一応資料点検して返納、終って「久保木先生コーヒーなど入れてくれる」と日記にある。久保木先生に旅館を紹介して戴き満員の所、無理に予備室を空けていただき宿泊を確保、これも久保木先生のお口添え、その夜は原本に接し写真撮影に興奮して寝付られない。翌日早朝、朝食もそこそこに記念館に行く、残余の仕事を仕上げて、十時頃久保木先生から自転車を拝借、先生から遺跡の所在を教えられて、この偉人を排出した風土を確認する目的で史跡めぐりをする事にした。先ず伊能忠敬の眠る観福寺を訪ねる。この寺は古く平家一門や千葉氏の保護を受け、後徳川家の祈願寺として栄えたという、寺宝に懸仏の十一面観音の他国重文の仏像数点ある。寺域に伊能忠敬の墓（爪髪を埋葬、別に台東区東上の六丁目の浅草源空寺に恩師高橋至時の墓と並べて葬る）をお詣りし、忠敬に好學の強い刺激を与えたと言われる賀茂真淵高第の揖取魚彦の墓もある。千葉氏の立派な墓石も沢山あり合掌する。自転車を走らせて、香取神宮に詣で、脇にある天然理心流祖鹿島神統流元祖飯篠長威斎の墓に合掌。

帰りに、久保木先生のご好意で先生宅に伺う。そこには久保木竹窓遺跡と記された標示がある。竹窓は清淵とも言い、津宮上組の代々名主家の生まれで儒者であった。忠敬より年下であつたが、忠敬は竹窓から漢学を学び、また忠敬の「大日本沿海輿地全図」の作成に協力をおし、忠敬とは師であり良き協力者でじつ懇の仲であったという。先生は「家に忠敬の測量野帳が沢山ある、竹窓の書いたものだろう」と付け加えられた。先生との会話は進み、帰りに「沢山の資料を戴く、五時宿舎にもどる」と日記にある。

「河川の氾濫による深刻な体験がくりかえされた利根川流域から、算学者が輩出したことは特徴的であるが、歴数の学を志した忠敬が佐原から出たことも、天明の出水、飢餓と闘った生活体験と無関係ではなからう」と、「書状にみる人間伊能忠敬」の筆者小笠原長和氏は言う。これに加えて、忠敬自身の幼少の薄運、養家先の伊能家という地域指導者の家、一族や朋友に忠敬の好學を振り立たせた学者、文化人の存在等様々な要因が忠敬五十才にして発願発起の行動を誘発し、七十四才、文政元年（1,818）四月十三日八丁堀亀島町自宅で永眠するまで忠敬をかりたせたのであろう。

然し、忠敬は健康には自信のある方ではなかった。壮年の頃でも病魔に侵され、若い頃でも登山は不得手とされた。測量の旅を続ける老年には痰咳、歯痛が襲ってもその旅は中止しなかったという。

五十にして立つ、我がプロバスは六十にして立つ、幸い指導者に事欠かない会は良き師を得て、忠敬にあやかり心身共に充実を期したいものである。

◎7月例会報告

日 時 1998年7月9日（木）12：30～14：00

場 所 エルシィ3F会議室

出席者 会員 34名 来賓 2名

○議事

1. 会長挨拶

本年度第1回の例会である。南R.Cより千野副会長、遠藤プロバス担当委員長を来賓としてお迎えした。
今年度も昨年に劣らぬ運営をしていきたい。

2. 来賓紹介と挨拶

◇南R.C千野副会長

- ・新年度のスタートおめでとう。豊かな人生経験と落ち着いた雰囲気、長期に亘っての活躍が期待できる。
- ・ロータリーでは、年度を表すのに、会長名を冠することがあり、本年度は酢屋会長年度となる。会長は南R.Cとプロバスクラブとの交流を深めるために本年度は合同例会なども考えているようだ。
- ・本年度のテーマは「生き物みな友達」とし、11月1日に子供達を招待して高尾登山を計画している。
- ・本年度、南R.Cではプロバス担当委員会を設置し、初代委員長に遠藤 博氏を決定した。

◇南R.C遠藤 博プロバス担当委員長

本年度は担当者としてプロバスへの顔出しが多くなると思うがよろしく。前々より「プロバスだより」等を通じて、プロバスの雰囲気を感じていたが、直接出席してその人材の豊かさを羨ましく思う。
酢屋会長は、プロバスクラブ設立当時の担当をされており、当クラブの活躍、発展に大きな期待を寄せている。

3. 新年度委員会所属案決定

浜野幹事より所属案が提案され、異議なく原案通り決定された。（別紙配布表の通り）

4. 新入会員紹介（7月入会 北川氏（会員委員会）、8月入会 下山氏（例会委員会）

○北川 博孝 昭和11年10月21日生 八王子市台町3-11-27 TEL0426-22-6984

- ・現役時代の主な業務 NEC名古屋支店長
- ・現在していること 「自分史」草稿のまとめ、大学の聴講生
子会社の非常勤監査役、日本証券アナリスト検定協会会員
- ・趣味 庭いじり、現代史関係書籍集め、ゴルフ

○下山 邦夫 昭和11年1月19日生 八王子市めじろ台1-30-5 TEL0426-63-6920

- ・現役時代の主な業務 オリンパス光学工業（株）取締役第一事業部長
- ・現在していること 子会社の非常勤監査役
- ・趣味 ゴルフ、囲碁、カメラ

5. 幹事報告

①各委員会の打ち合わせ会の開催について

下記日程により、新委員会を開催し、副委員長の選出と活動方針等をまとめる。

情報委員会 7/16（木） 地域奉仕委員会 7/23（木） 例会委員会 7/28（火）

研修委員会 7/30（木） 会員委員会 8/6（木） いずれも会場はエルシィ12時より

②8月例会

8月第2週エルシィ休館のため、8月例会は1週間後の8月20日（木）に変更

- ・各委員会の方針等の発表
- ・決算、予算の審議決定の予定

裏面に続く

③理事会より

- ・卓話のある時など時間延長を望む声があるが、会場費等予算上の関係で今年度は見合わせたい。
- ・月1回の月例会では、自由に楽しく会員の輪を広げてほしい。

④南R. C夜間例会へのお誘い

7月29日(水) 午後6:00～ エルシィ

講談師 神田 陽子さんを招いての会 希望あればご参加を!

会費 男性 10,000円 女性 8,000円

6.旧委員会報告

◇情報委員会(平原前委員長)

①第2回プロバス生涯学習サロンまとめの冊子、本日出来上がり。

- ・岡田、桂氏のご尽力に感謝
- ・セミナーは分担して記録要約したので、文章等に不統一の面があるかもしれないがご容赦を。セミナーの概要はつかめる。

②サロン集計結果について(閉講式で実施)

- ・関心の高いテーマ、次年度の参考に。
- ・少数だが、内向きの傾向あり、交歓の雰囲気感ぜずの声あり、反省点として重視したい。

◇地域奉仕委員会(北原前委員長)

学習サロン実施に会員みなさんの協力を感謝する。

第3回の実施に際しても、全員の協力が不可欠。

●訃報

森下敏雄さんが7月31日永眠され、8月1日お通夜2日告別式が行われました。享年74歳でした。

謹んでお悔やみ申し上げます。

薬 と 私

井口 禎

よくぞ生きた65年・・・この9月15日で満65才になる。

多分私の一生は薬ずけで終わると思われる。今までどれほどの量の薬を飲んだことか、自分でも分からない。製薬会社から感謝状をもらいたいぐらいだ。風邪薬、頭痛薬、胃薬、ビタミン剤等々、抗生物質は身体にあわない。数年前肩凝り、首筋が痛くなり検査の結果は血圧が180～130で、それ以来1日3回、血圧降下剤を必ず飲んでいる。本態性高血圧症とのこと。身体が弱かった私は、中学2年生頃まで秋の木枯らしが吹きはじめると、毎年必ず風邪をこじらせ、1週間から2週間高熱(39度～40度)で水枕、氷嚢がはなせない。同時に中耳炎にもなった。左耳は鼓膜にピンホールがあり難聴である。戦中戦後は良い薬が無かったことと、医療も進んでいなかったのも、いつも重い気管支炎になっていたものと思う。

静岡大空襲S20・6・20、B29・120機襲来、・・・一面焼け野原・・・その日に限って、私の家族は安倍川に逃れ、幸い生き残った。たしかS22年頃の秋田犬ブーム時、父親がメス犬を買ってくれたのが契機で、毎朝4時起きで2時間の犬の運動に出たおかげと、母校野球部の応援に真夏の草薙球場へ6年間駆り出されたことで、まあまあ身体になり、高校も無事卒業出来た。

私はS8年生れで終戦の翌年S21年旧制静岡中学校に入学、在学中6・3・3の新制度になったので、そのまゝ、新制静岡高等学校を卒業した。大学受験に失敗し、某製紙会社に入社したが翌28年再び大学受験を決意、9月に上京、S29年3月無事合格出来た。

S29年1月には記録的な大雪が降り、積雪30センチ、新宿西口は一面銀世界、当時はたしか工学院大学と淀橋浄水場しかなかった。温暖の地静岡生れの私には、初めての大雪で、大変な僻地に來たと思った。S28年秋に風邪をひき、翌年1月不整脈起きる。これが第1回目で、それ以来特に季節の変わりめに毎年2回胸が大変苦しい不整脈を経験してきた。結婚迄の約10年間は単身の下宿生活であったので、寝込んではいけなさと売薬に頼るようになった。大学4年の時、微熱が続いたので風邪薬を常用していた。入社試験で分かったのだが、肋膜炎であった。S49年には1台約2億円もする機械が3台、1年間も生産活動出来ず、責任者として心身ともに疲れはて、肺炎で約1ヶ月間入院。この間父親が死亡、葬儀には出られなかった。今も肺のレントゲン写真には、蜘蛛の巣状の痕跡がある。

風邪を引き易い、咳が出や易い、疲れ易い。

今日もなんとなく寒気がする・・・風邪薬とビタミン剤を飲む。

なにはともあれ、無事定年退職出来た、今は悠々自適の生活である。

感謝している。・・・目標100才・・・頑張ろう。



◎8月例会報告

日 時 1998年8月20日(木) 12:30~14:00

場 所 エルシィ3F会議室

出席者 会員 40名 来賓 1名

○臨時総会

1) 議長選任 野口会長を選出

2) 議事 ア.9年度決算報告 立川前幹事より報告 } 拍手で承認
ク 監査報告 桂氏より監査報告 }

イ.10年度予算承認 浜野幹事より提案

・立川氏より長欠者の会費についてどのように考えるかとの質問に理事会で検討する旨
回答あり。 拍手で承認

3) 臨時総会閉会

◇8月例会 臨時総会終了後、7月31日に逝去された森下氏のために黙祷を捧げてから例会に入る。

1. 会長挨拶

- ・決算、予算が承認され実質的に10年度の出発を迎えることができた。
- ・先年度1名、本年度に入って森下氏の逝去、誠に残念である。会員の方々にはくれぐれも健康にご留意下さい。
- ・本日各委員会の活動方針が報告されるが、ご協力下さい。
- ・南RCの酢屋会長をお招きして例会を開けたことを感謝すると共に、昨年度に続き本年度も助成金をいただいたことを深謝する。

2. 来賓紹介 南RC 酢屋会長

(挨拶) ロータリーとプロバスクラブが一心同体で活動できることを感謝している。ロータリークラブの創設者、ポール・ハリスが願った「世界の人々が平和で豊かな生活ができるように」という、この精神を本年度の南RCの活動方針としたい。

3. 新入会員紹介 山下邦夫氏 今月より出席

4. 幹事報告 下山

- 1) 7月15日 南RCの例会に参加し、助成金10万円を受領、残りは後日。
- 2) 7月23日大野初代会長等と南RCと話し合いを持った。
◇南RCの運営方針として・プロバスとの交流を密にしていきたい。
・プロバス担当委員会を作った。
◇プロバスとして・ロータリーの卓話にプロバスからも参加を。
・11月1日(日)にロータリーが計画している高尾の自然観察登山に、
プロバスも参加して交流を深めたい。
- 3) 各委員会とも活発な討議と活動方針が出て、有意義な会が持てた。
- 4) 次回、9月例会は9月10日(木)
- 5) 故森下氏に対してプロバスクラブ名で献花

5. 各委員会報告

①地域奉仕委員会(副委員長に石井 充氏を選任)

本年度、第3回の生涯学習サロンを実施する。

ア、講座・セミナーのテーマは、前年度実施のアンケートを参考に考えたい。今までと重複しないテーマにしていきたい。

イ、講演・助言者には、新しく多くの方々に依頼し担当していただく予定。

ウ、予算について、厳しい状況だが、質的に高める工夫をしたい。

エ、日程、 10月 テーマの設定 担当者の依頼

11月 計画表・案内状の作成

12月 PR活動

1～2月 (実施準備)

②研修委員会 (副委員長に土井俊玄氏を選任)

1) 卓話4回を予定 (9月、10月、12月、2月)

2) 移動例会 11月12日 (木) 五日市・青梅方面を予定、詳細は9月例会で。

3) プロバスクラブの趣旨・意義等会員募集や部外への説明のための文書をまとめ中。

③情報委員会 (副委員長に中野義光氏を選任)

1) プロバスだよりの発行 (随想は本年も掲載、原稿依頼に協力を)

2) 生涯学習サロンへの協力 (PR活動、要約の作成等)

3) 各種調査の実施 趣味調査: 9月例会で回収

④会員委員会 (副委員長に宮崎浩平氏を選出)

1) 新入会員の募集と審査 現会員数 名簿上47名、実質45名。

本年度増員目標5名

・推薦する場合 (推薦書を例会委員長より受け取る)

ア、提出日: 例会日 (推薦者・委員会とで話し合う)

イ、入会決定報告: 翌月例会で

2) 会員名簿の発行 (年1回、アイウエオ順)

途中入会者については、プロバスだより掲載のものを各自で追記する。

3) 新入会員へのホロー (主として会員委員会で行う)

⑤例会委員会 (副委員長に野末孝雄氏を選任)

1) 例会等欠席の場合は必ず連絡をしてほしい。

6、その他

桂氏を励ます会 (野口会長より)

すでに案内済みだが、9月5日 (土) に実施する、当日はモンゴル大使も出席されるし、馬頭琴の演奏もある、多数ご参加を。

無名戦士の墓・・・8月15日に想う

田 子 稔

第1次世界大戦後、連合軍の戦死者で身元不明者が多数発生した。この為、ベルギー、フランス、英国、米国等の連合各国は、この戦死者の栄誉を讃える為、それぞれの国の首都の近くの適切な場所に墓地を造ろうという事となった。ベルギーは首都ブラッセルの国会議事堂の回廊列柱基盤の地下に、フランスはパリのあの有名な凱旋門の地下に埋葬し、永遠の灯火を点けた。英国では戴冠式が行われるウエストミンスター寺院に歴代の国王と共に葬られている。米国では首都ワシントン郊外にあるアーリントン国立墓地に埋葬されている。この墓地は約600エーカーの広大な敷地で、軍人とその家族や国家に功績のあった人達23万人が埋葬され、特に、ケネディー大統領の墓には、永遠の灯火が灯っていることで有名である。この墓地の中心に大きな廟が無名戦士の為に建てられ、その前面に造られた身の丈を遥かに上回る高さの幅の大理石の大きな箱型の墓石の地下に、第1次世界大戦以降ヴェトナム戦に至るまでの無名戦士が眠っている。その墓石には「栄光に包まれた一人のアメリカ兵士此処に眠る。その名前は神のみぞ知る」と言う有名な碑文が刻まれている。この墓の周りには毎日、銃を担いだ歩哨が昼間は4時間交代、夜間は2時間交代で24時間護衛の任についている。各国首脳は訪問先の無名戦士の墓にまず花輪を捧げるのが外交儀礼となっている。我が国ではその様な儀礼を受けた事はない。日本の首相も訪問先では花輪を捧げるが、肝心の自国の為に若き命を散らしていった二百数十万の戦士に対し、何程の鎮魂と慰霊の真摯な儀礼を行ってきたのか。それどころか、靖国公式参拝が、内政干渉がましく近隣諸国から批判されるのに対し、毅然たる態度で国のプライドと戦死者の名誉を守った指導者が、この日本には過去何人いたのであろうか。今年も又、8月15日が巡ってきた。我が国ではこの日、年一回の儀式が、演芸やスポーツでも使われる「多目的ホール」の日本武道館で数十分行われるだけである。敗戦により古き良き日本の精神的基盤と伝統文化が抹消され、去勢されて、心の拠り所を未だに失い続け迷走しているこの国の姿に、外国の無名戦士の墓を思い浮かべ、私は空しさを禁じえない。私事で恐縮だが、私の三人の兄は皆戦死した。そして遺骨は未だ帰ってこない。

◎9月例会報告

日 時 1998年9月10日（木）12：30～14：00

場 所 エルシィ3F 会議室

出席者 会員 39名 来賓 1名

○議事

1.会長挨拶

幹事会で検討した議題を提案致しますので宜しくお願い致します。本日も大変お忙しい中、南ロータリーの酢屋会長のご出席を頂いております。

故森下氏へのプロバスクラブよりの献花に対し、奥様よりお礼のご挨拶がありました。9月5日に実施した「桂氏を励ます会」に多数の会員の参加をいただき有り難うございました。

2.来賓挨拶 南R.C酢屋会長

今月号の「プロバスだより」に田子さんが書かれているアーリントン国立墓地はアメリカバージニア州にあります。ここはロータリークラブ創立者の出身地でもあり、一層の思いのある場所です。

南ロータリークラブの「ものみな友達」の趣旨で、11月1日（日）に子供100名の高尾山ウォーキングを計画しておりますのでプロバスクラブの方々もご参加下さい。

3.幹事報告

1) 今年度のプロバス生涯学習サロンの準備委員会を設置した。

メンバーは幹事、地域奉仕委員会、大野初代会長で毎月1回打ち合わせを行う。

2) 故森下会員が今年度分の会費を前納されていたので、残額をお返しした。

3) 次回、10月例会は10月8日（木）

4.委員会報告

①地域奉仕委員会

生涯学習サロンの検討を始めた。まとめ次第報告する。

②研修委員会

11月の野外例会の計画をまとめた。八王子周辺は大体まわったので、少し遠出する事とし、五日市から塩山に出るコースを計画した。 本日、案内書をもとに出欠届けを出すこと。

③情報委員会

前月例会に配布した趣味のアンケート用紙を本日回収する。

出来るだけ早く活用出来る様まとめる。

5.卓話「古賀・服部そして小関裕而」 平原会員

古賀政男、服部良一、小関裕而の登場時期の背景、人間関係、代表作にまつわる逸話などをCDによる音楽を交えながら興味深く話しをされた。



次頁につづく

※南RC主催『生きものみなトモダチ』高尾山登山へのお誘い

日時：平成10年11月1日（日）AM 8：30集合（時間厳守）

集合場所：京王高尾山口駅駐車場広場（駅の裏側）

費用：無料、持物：飲み物、雨具。保険証、ゴミ袋

日程：AM 8：30集合→9：00出発→11：00頃頂上→11：30

昼食会場→11：30（住職のお話）→12：20（食事終了）

→12：30（護摩焚き）→13：00（表参道下山）→14：30（集合場所で解散）

食事は精進料理、護摩焚きは参加自由。中止の場合は前日PM 3：00に連絡。

問い合わせはRC事務所 TEL 24-2220 FAX 27-0577

イタリアの“千人隊”

平原 俊彦

我がハ王子の千人同心は慶応元年その名を千人隊と変えましたが、ほぼ同じ頃イタリーにも“千人隊”が組織され、それがイタリア近代史に大きな足跡を残しました。

時は1860年、と云えば日本では万延元年、アメリカへ成臨丸が出航し、井伊大老が水戸浪士により殺され、皇女和宮の降嫁が決まるなど幕末も終わりに近く、大変あわただしい年でしたが、イタリアでも同様新しい時代＝統一化におけてまことに騒然とした時でありました。

元来イタリアは不幸な国で遠いローマ帝国の時代はいざ知らず、中世この方都市国家を含む多くの小国家が分立し、しかもその多くが外国勢力の支配を受けていました。1800年代になってイタリア全土を統一しようという気運が高まり、それも北イタリアのサルデニア王国を中心にまとまりかけようとしていました。しかし南イタリアはスペイン＝ブルボン王朝が支配し、この動きに当然ながら加わりません。

そこで1860年、北の英雄ガリバルディ將軍の率いる約千人の志願兵達がシチリア島マルサラに上陸、ブルボンの正規の軍隊と戦いました。多くの兵隊は農民、市民で服装も普段着、なかの50人程が赤シャツを着ていたので“千人隊”のほかに“赤シャツ隊”とも云われていますが、皆意気は大変盛んでした。そしてマルサラから50キロのカラタフィーミで3千のスペイン兵たちと戦い、6時間の戦闘のすえ大勝利を得ます。その時のガリバルディの「イタリアの誕生か、死か」という言葉は有名です。それがイタリア統一の大きなキッカケとなりました。今イタリア人達にとってこの「カラタフィーミ」という名は、日本人にとっての関ヶ原と同様歴史の流れを大きく変える場所として大変なじみ深いところのようです。と同時に“千人隊”という名もよくしられています。尚このマルサラでうまれたお酒は文字通りマルサラ酒と云われ、大変美味しくまた有名でもあります。

このシチリアでの事件を滅びゆく貴族の側から描いたのがルキノ・ヴィスコンティ監督の名作「山猫」です。子細に描写されたシチリアの山野、パートランカスター扮する老侯爵の厳しさがしかし悠然とした風貌、豪華絢爛たる舞踏会の場面、そこでワルツを甥の許嫁のクラウディア・カルデイナーレと踊る侯爵の粋さなどなど、この映画は旧体制が崩壊してゆく過程を大変美しく描いています。侯爵の甥は革新派ですが、彼は云います「現状を維持しようと思えば自ら変わるしかない」。何処かの政党に聞かせたい言葉ではありませんか。

シチリアはイタリアの南にある、わが九州の7割程しかない小さな島ですが、そこから見る歴史の世界は実に興味つきないものがあります。と書いていたらまたイタリアに行きたくなりました。

プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第36号

編集・発行：情報委員会
1998. 11. 12

◎ 10 月例会報告

日 時 1998 年 10 月 8 日 (木) 12:30 ~ 14:00

場 所 エルシィ八王子 3F 富士

出席者 会員 43 名 来賓 2 名

○ 議事

1. 会長挨拶

来賓に南 R.C の酢屋会長、遠藤プロバス担当委員長をお迎えしている。

今月 2 名の新入会員があった。

各委員会の計画も順調に進んでいる。会員の協力よろしく。

大野前々会長が主催する「いちょう祭り」には役員の了承も得たので、当プロバスクラブも支援団体となることにした。

2. 来賓紹介 南 R.C 酢屋会長 同遠藤プロバス担当委員長

(酢屋会長挨拶) 毎回のように新入会員があり、感謝している。

11 月 1 日に R.C では主として小学生を対象とした高尾登山を計画している。強くたくましく育て欲しいとの願いをこめている。プロバスの方々もご参加を。(ホワイトハウスでの白黒の電話、小学校で地球儀の傾きについてのエピソードの後) プロバス会員は恐れるものは何もない、オピニオンリーダーとしての活動を期待する。

3. 新入会員紹介 (大野会員より小林氏、鈴木会員より長町氏推薦の辞あり)

○ 小林義一 (こばやしよしかず) 大正 10 年 11 月 2 日生
八王子市南陽台 2-28-14
TEL 0426-76-3174

・現役時代の主な業務 国鉄・鉄建公団を通して鉄道の建設と計画
・現在していること 江戸期の女流俳人榎本星布の研究
・趣 味 俳句

○ 長町幸雄 (ながまちゆきお) 大正 7 年 8 月 31 日生
日野市東平山 1-6-1
TEL 042-583-8356

・現役時代の主な業務 群馬大学医学部第一外科教授として医学部の教育・研究・診療に従事
・現在していること 群馬大学医学部名誉教授として医学教育に助言。日本消化器病学会理事
・趣 味 スポーツ

4. 幹事報告

① 11 月 1 日実施の南 R.C 主催「高尾登山」参加希望者は回覧中の名簿に記入してください。

② 先月末境 P.C より新年度役員名簿をいただいた。当クラブも今後友好団体に対して情報の提供を考えなければと反省している。

③ 11 月は 12 日 (木) に移動例会。12 月の例会は 12 月 10 日 (木)

5. 各委員会報告

① 地域奉仕委員会

○ 第 3 回学習サロンの構想まとまる。

1) 日 程 2 月 25 日 ~ 5 月 27 日 第 2・4 木曜日

2) 会 場 エルシィ八王子

3) 講師、助言者 できるだけ多くの方々に担当していただくため、新しく 9 名の方々にもお願いしたい。外部講師 2 名を依頼した。



- 4) 名 称 「セミナー」を「サロン」に変更する。参加者の声もあり、昨年度の反省による。
尚、別に司会者を依頼する予定。
- 5) テーマ等 ・サロンのテーマは仮題、10月中に確定したい
・野外サロン・閉講式に関しては検討中、11月例会で発表したい。

② 研修委員会

11月12日(木)移動例会

本日会費納入者 35名

当日はJR八王子駅南口「たましん」前を8時に出発。服装は自由。

③ 情報委員会

本日配布予定の趣味調査のまとめは都合により次回とする。

6. 卓 話 「野鳥の話」 土井会員

野鳥の声のテープを聞きながらのお話。同種の鳥でも鳴き方に違いがある。環境の変化と野鳥。野鳥の飼育方法と歴史的背景等、楽しいお話で、最後に八王子市の鳥「オオルリ」の声を聞いて終了した。

7. 情 報 (立川会員より)

- 世界の童話展 11月8日(日)～11月15日(日) 午前10時～午後8時
創価学会南文化会館

● いちょう祭り協賛 手形及びパスポート販売について

今年も「いちょう祭り」が22日(日)・23日(祝)の2日間に亘って開催されます。今から20年前、前々会長大野聖二会員の発意によって始められたこの行事は、昭和天皇の崩御によって1回お休みしましたが、今年は19回になります。当プロバスクラブは別項のように支援団体として参加することになりました。ついては祭りの財源であるパスポートと手形の販売を引き受けましたので皆様の絶大なご協力をお願い致します。

関所手形 1個 600円 パスポート 1冊 500円

報道機関の責任

桂 元二

テレビ局(製作者)は日本語をもっと大切にしたいと思うのは私だけではないと思う。動詞と名詞の区別もつかない連中が余りにも多いのに驚かされる。6月7日、NHKの夜の放送「ブッダ」の中で仏頭が農夫の手で「発掘」された、農民が「掘って」持ってきたというところを字幕にはどちらも土偏の「堀」という字が使われていた。

NHKにもこのような間違いを正すチェック機能がないらしいのは困ったことだ。新聞社には記事審査部というのがあるが、審査を待つまでもなく、この程度の常識を持ち合わせていない記者はいないだろう。さすがNHKと普段信用していただけにショックだった。このような間違いは民放にはしばしば見られる。喋ることを職業にしているはずのアナウンサーの中に「厚い」と「熱い」という発音の区別もつかないのがかなりいるのは気にかかる。影響が大きいだけに報道機関に身を置くものはもっと日本語を勉強しなければなるまい。話は別だが以前はヤクザの中でのみ使われていた「ヤバイ」という隠語がまるで市民権を得たかのように今、市中を濫歩しているのは情けない。困ったことにその影響か近頃は小学生までがヤバイという隠語を使う。ヤクザ業などという職業はないのだから彼等の社会でのみ使われている隠語をまともな人間は使うべきではない。

江戸時代に侠客というのがいた。彼等は仁侠の徒と自認して、強きを挫き弱きを助ける庶民の味方でもあった。だから今のヤクザとは本質的に違うのだ。「ヤクザ」とは役に立たない人間のことで、こういう連中はこの世の中にいないほうがいい。

テレビに出演する連中、放送、新聞など報道関係の仕事に従事する者はその責任の重さを自覚して、日本語を正しい方向にもっていくように努力して欲しいが、当面はせめてヤクザの隠語など使わないことだ。

◎ 11 月移動例会報告

日 時 1998 年 11 月 12 日 (木) 8:00 発 18:30 解散
場 所 五日市 (大悲願寺) (郷土館)・石和 (恵林寺)・勝沼 (白百合醸造)
参加者 会員 33 名

< 議事及び旅程 >

当日は好天に恵まれ、参加者全員乗車して (富士急バス) 定刻より少し遅れた 8:12 に出発。

○ 議 事

1. 会長挨拶
2. 報 告

① 幹事より

- 1) 11 月 1 日 (日) に実施された南 R.C 主催の高尾登山には当プロバスクラブ会員 8 名が参加。
好天だったが紅葉には早い。
- 2) 新入会員の所属が未定であったが、11 月の理事会で次のように決定した。長町氏 (地域奉仕委)・小林氏 (研修委)
- 3) 12 月例会は 12 月 10 日 (木)
1 月例会は 1 月 14 日 (木) 18:00 より
引き続き新年会も行う。 場所は八王子プラザホテル。
会費 5,000 円は 12 月例会の際集金する。

4) 諸種返金について

集金を伴う行事の際、2 週間前までに不参加の申し出があった場合に限り全額返金することとする。

② 情報委員会

趣味調査のまとめ一覧表は、都合により 12 月例会で配布することとする。

③ 研修委員会

本日の研修日程について

④ 例会委員会

12 月例会は 10 日。 1 月は 14 日に新年会も兼ねて行う。
会費の集金は 12 月例会で。

⑤ 地域奉仕委員会

イ. 生涯学習サロン：全講座及び講座名も含めて決定した。

野外サロン及びおわかれパーティーについては、現在につめているので
12 月例会で発表する。

ロ. いちようまつり：11 月 22、23 日に実施、参加よろしく。

パスポート (500 円)・手形 (600 円)
の売り上げの 10%がクラブへ還元される
ので、是非購入してください。

祭り当日は、横山事務所内 (ユーモア館)
にプロバスの詰所を置く。

< 例会終了 >

○新入会員紹介 渋谷文雄 (しぶやふみお) 昭和 4 年 11 月 5 日生 (69 歳)

所属は例会委員会

八王子市暁町 3-5-16

< 推薦者 南 R.C 杉山友一様 >

株式会社タチエス代表取締役社長、会長

現在 同社相談役・八王子社会福祉協議会副会長 (理事)

○研 修 会

国道16号線・秋川街道・川口より五日市街道を經由して

イ. 大悲願寺(9:15~9:40): 山門前で土井会員より解説あり、その後境内に入って見学

ロ. 五日市郷土館(9:50~10:20): 小林指導員の案内で館内展示物を見学する。古民具・古農機具・五日市憲法草案等々の展示あり。

五日市の街をぬけ、桧原村本宿より奥多摩周遊道路を上り詰めた数馬の三頭山荘(11:35~12:18)で山菜の昼食。周遊道路で奥多摩湖まで下り、青梅街道(国道411号線)と合し、柳沢峠へ向けて登る。所々あざやかな紅葉を見ながら峠に至る。ここで休憩(13:54~14:10)。富士山のスマートな姿を眺めた後、塩山に向けて一気の下りとなる。野口会長より黒川金山・柳沢峠などの解説をお聞きしているうちに塩山市内に入る。

ハ. 恵林寺(2:50~3:30): 境内で野口会長より、当山の開基より、信玄の菩提寺となった頃や、徳川時代に至るまでの説明を受けた後、本堂、庭園等を拝観する。

411号線にもどり勝沼へ。

ニ. 白百合醸造(4:10~4:38): 工場の実際の作業は終了していたが、ワイン醸造の工程説明後、工場内を見学し、広間に準備されたワインを試飲した。

勝沼I.Cより中央高速に乗る。車中で新たに配られた飲み物と、試飲したワインとの相乗作用で、心地よくバスにゆられながら予定より少し早めに帰着し、解散した。

<11月度 移動例会会計報告>

収入の部

特別会費 5,000円×37 185,000円
プロバス会計より 11,697円

合計 196,697円

支出の部

バス代 99,750円
保険料金 100円×35 3,500円
高速料金 4,700円
運転手／ガイドへチップ 5,000円
銀行振込手数料 577円
食事代 1,680円×(33+2×0.5) 57,120円
恵林寺拝観料 250円×33 8,250円
ビール、つまみ代 17,800円

合計 196,697円

魅力の花・椿

土井俊玄 会員

椿にとりつかれて早や28年になります。

元来花木が好きであった私が椿にのめりこんだきっかけは、深代寺植物公園で開かれていた椿展でした。椿にはこんなに沢山の種類とそれに伴う美の幅広さに驚いたものです。そこで買い求めた苗木と一冊の本が私をとりこにしてみました。その本は神奈川県教育委員をつとめられた鈴木憲一氏の著書で『椿の栽培の仕方』という本でした。江戸時代ころから武家の間では椿の花の落ち方があたかも人の首が落ちるようにぼとりと落ちるので不吉であるとのいわれのない迷信に渦められて今でもその美しさや魅力を知らない人の多いのは残念だなと思っています。いまではめでたい木として“松竹梅”ですが、梅が中国から入ってくる前は“松竹椿”の三木であったとする説もあるくらいです。また武家の総本家ともいべき二代將軍徳川秀忠は江戸城吹上の花壇に諸国のツバキ品種を集め植えて大いに愛玩していたようです。椿と言えば茶の湯と切っても切れない関係にあるのですが、よく使われる品種は早咲きの“白玉椿”と“侘助椿”でしょう。白玉椿といってもいろいろな種類があります。白盃、本白玉、大白玉、初嵐、賀茂本阿弥その他沢山ありますが、その代表的なものが初嵐です。この初嵐は花が葉の上につき葉に隠れにくい。葉の大きさも中葉で花と葉のバランスがよいのでよく使われるようになったのです。侘助椿もよく茶花として使われますが、この椿は多くの謎を秘め椿研究の対象となっています。ワビスケ椿群には白侘助、紅侘助、数寄屋侘助、胡蝶侘助、有楽(別名太郎冠者)というのがありますが、その大もとは有楽であろうと言われています。ワビスケ椿群は日本原産のヤブ椿とは大きく異なり①子房に密毛がある。②葯が退化して稔性が悪いなどです。この有楽は全国的に樹齢300年位のものがあり、足利尊氏の対明貿易と関係があると言われています。恐らく日本原産の椿と中国のビタール椿との間に出来たツバキではないだろうかと言われています。可憐な椿から豪華絢爛たる八重そして千重の椿まで、その美しさを多くの人に知ってもらいたいと願っている昨今です。

◎12月例会報告

日 時 1998年12月10日（木）
場 所 エルシィ3F 会議室
出席者 会員 39名 来賓 2名

○議事

1.会長挨拶

2.来賓紹介

◇南R.C 酢屋会長 同 杉山友一氏

3.新入会員紹介

◇推薦者 南R.C 杉山友一氏より推薦の辞

◇新会員 渋谷文雄氏より入会の挨拶

4.幹事報告

- 1) 南R.C酢屋会長より行事に対する補助金をいただいた。
- 2) 次回1月例会は新年会も行う。後期分会費（18,000円）をその際集金する。
- 3) いちよう祭りの「手形」「パスポート」販売に伴う10%還元あり。（1,850円）
- 4) 事務局の電話、ファックスの設置場所移動
本日（10日）午前中に「花わらべ」に移設した。所在地：追分町10-15
- 5) 特別例会費（移動、新年例会等）のキャンセルの扱い。2週間以前のキャンセルについては全額返金する。
- 6) 12月16日（水）南R.Cのクリスマスパーティーあり。参加希望があれば南R.C親睦委員長の大野氏に申し出を。 会費16,000円

5.各委員会報告

①地域奉仕委員会（委員長欠、石井副委員長より）

- ・生涯学習サロンの件、要項による説明
- ・5月13日野外サロン「街道をゆく一甲州街道」と決定
- ・5月27日閉講式の司会者未定、後日委員長よりどなたかに依頼がある。
- ・サロンの助言者はレジメのご用意を（1月例会までに800字程度）

②研修委員会

- ・野外例会の会計報告はプロバスだよりNO.37に掲載した

③情報委員会

- ・趣味調査一覧を配布、会員間で親睦の輪を一層広め、深めるための資料として活用下さい

④会員委員会

- ・名簿の不備は出来るだけ訂正したが改訂版は新年度になってから発行する
- ・新入会員があった場合、紹介時に間に合うよう所属も含めた資料をプロバスだよりに掲載する

⑤例会委員会

- ・1月例会は新年会とする

1月14日（木）午後6時より 八王子プラザホテル

次頁につづく

6.卓話「ロータリークラブとプロバスクラブの関係」

八王子南R.C ガバナー補佐 杉山友一氏

3年前に八王子P.C.がなぜ出来たか、R.C.との関係、P.C.の将来の動向について約30分話された。最後に八王子が中心になってP.C.サミットが出来たらとか、インターネットによるP.C.の交流も八王子が先頭を走ってほしいなど、期待や希望を述べられると共にR.C.とP.C.の親睦も一層深めたいと結ばれた。

シュンペーター

宮崎 浩平

J・A・シュンペーター（1883～1950）の出会いとは40年前、学生時代の「景気変動論」に始まる。長いブランクを経て、数年前80才を越えた老先生にお会いし、叱咤激励され、仲間数人とシュンペーターの大作“C・S・D”（訳、資本主義、社会主義、民主主義、東畑精一、中山伊知郎著）に挑戦した。年何回と先生宅を訪れ、読書会を行っているが、未だ卒業出来ず、うろうろとしている。マルクスを痛烈に批判し、ケインズに敢然とぶつかり合うシュンペーターに閉口している。シュンペーターの理論は経済発展の3つの要素によって構成されて居る。

1) 革新（イノベーション）……（原因）

新しい財、新しい生産方法、新しい供給源、新しい組織の導入により、古いものを破壊し、新しいものを創造する。創造的破壊。

2) 企業者 ……（主体）

革新を遂行する人。

3) 銀行信用 ……（手段）

企業者が革新を行うための仕組として銀行、これらの出現による経済発展によって引き起こされた経済現象が景気循環を生む。これがキチン循環（40ヶ月）、ジュグラー循環（9～10年）、コンドラチェフ循環（50～55年）を生んで行く。日本経済もシュンペーター理論にもとづく経済的成功が故に衰退せざるを得ない段階にきているのであろうか、否、そうとは考えられない。シュンペーターは企業家に対し、“企業家は、他のあらゆる点で賢明であることも、魅力のあることも、また教養のあることも、必要なし……云々”と言っている。まさしく、バブル時代の多くは、シュンペーターの言った通りの人達であることが証明されたが、一方銀行信用においては、真の機能を遂さず、その手段を創造する人達の次元の低さ、例えば今日の銀行の定見のない故の倒産の実情、大手銀行の貸渋り等を考えると、そのマナーの悪さが“信用の収縮”を招いたに過ぎない。シュンペーターの言う、資本主義の成功が故のユートピアまで、まだまだ時間がかかりそう。いつ到達するのであろうか。

◎ 1 月例会・新年会報告報告

日 時 1999 年 1 月 14 日 (木)

場 所 八王子プラザホテル

出席者 会員 44 名、 来賓 1 名

○議 事

1. 会長挨拶

・年頭所感や第 3 回生涯学習サロン成功のための協力要請等について述べられた。

2. 来賓紹介 八王子南ロータリークラブ 酢屋会長を紹介

・割り箸が箸として役立つための条件を話され、本年もロータリークラブとプロバスクラブとは割り箸のような関係で進んで行きたい、と話された。

3. 幹事報告

① 2 月例会変更について、2 月は第 2 木曜日が祝日のため、2 月 18 日 (木) に変更する。

② 本年度学習サロン応募状況について、

1 月 13 日現在、既に 41 名の応募があり出足は好調、明 15 日の市広報にも掲載される予定でもあり、レピーターへの案内は 120 通が発送されているので今後の反応が楽しみである。

③ 生涯学習サロンの役割分担について、各委員長を中心に務められたい。

④ 昨 13 日、生涯学習サロンの概要を説明するため南ロータリークラブへ赴いた。なお、同クラブから、早朝セミナーの案内を頂いた。(1 月 29 日)

4. 各委員会報告

① 地域奉仕委員会

・生涯学習サロン各委員会の分担事項についての説明
成功に向けて、全員での盛り上げを希望する。

② 研修委員会

・生涯学習サロンの助言者は、レジメを鈴木委員長まで提出すること。(1 月 25 日必着)
・研修委員会ではレジメをもとに、150 字程度にまとめて、サロン・参加者用の資料を作成する。

③ 会員委員会

・入・退会手続きに関する細則について、1 月 7 日の役員会での決定 (別紙) 事項報告

④ 例会委員会

・2 月例会の期日変更
・生涯学習サロンの司会者について、平原地域奉仕委員長から下表のように分担を決めたので協力して頂きたいとの依頼があった。(都合の悪い方は申し出てほしいとのこと)

3 月 1 1 日		3 月 2 5 日		4 月 8 日		4 月 2 2 日	
テ ー マ	司会者	テ ー マ	司会者	テ ー マ	司会者	テ ー マ	司会者
ガンについて	鈴木幸雄	あなたの好きな ベスト 3 映画	北原満夫	宝塚 よもやま話	平原俊彦	カリフォルニア・ 風土とくらし	北原満夫
大草原の国 モンゴル	加藤 寛	野鳥の話	大山 泰	舞台と茶道	野末孝雄	オペラは こんなに楽しい	立川富美代
懐かしの 映画音楽	大高秀夫	野球今昔	山下安雄	くらしの中の 色彩	吉田信夫	自分にとって 最後の言葉とは	野口勝久
絵を描く 楽しみ	石井 充	横浜開港と 中居屋重兵衛	中野義光	八王子の女流俳人 榎本星布のこと	田淵元子	自動カメラの 上手な撮り方	岡田 尚

⑤ 情報委員会

・12月に配布した「趣味のまとめ」の訂正について

No.1

大野聖二氏の項 一言欄 4行目に「囲碁」 3行目を「古代史」とする。

No.3

氏名欄 3行目 須田義次氏は「須藤英雄」氏に変更

立川富美代氏の項 音楽の一言欄の空欄に「鑑賞、主にクラシック、ジャズ、ポピュラーも含む」を入れる。

田渕元子氏の項 趣味欄 3行目空欄に「旅行」を入れる。

No.4

氏名欄 10行目 「松尾信一郎」氏を1欄下げて11行目とする。

宮崎浩平氏の項 趣味欄 3行目空欄にゴルフを入れる。

○田子副会長の終わりのことばで例会終了、新年会に移る。

◎ 1999年新年会

1. 乾杯（発声・濱野幹事）

2. カラオケ 懐かしい歌の数々でなごやかに！

3. ビンゴゲーム ハラハラ、ドキドキ、ゲームを楽しむ！

4. 閉会 参加者全員が手をつなぎあって大きな輪を作り「ふるさと」の合唱とハミングの内に加藤例会委員長の閉会のことばで終了。

◎新入会員紹介 小原 康 直（おはらやすなお） 昭和2年4月26日生（71歳）

<推薦者 南 R.C 小林茂次郎様> 多摩市桜ヶ丘 1-52-5

（株）キョーカ 会長

趣味 短歌

所属 例会委員会

◎会員退会 須田義次氏 一身上の都合により 平成10年12月末で退会

兵馬俑を見て

1998年の11月に中国旅行の機会を得て、ぜひ見たいと思っていた西安郊外の兵馬俑を見る事が出来た。雑誌やテレビでその凡そは知っていたものの、その規模の大きさに只々驚くばかりで圧倒された。兵馬俑は1974年に発見されて、24年の歳月が経っていたのだが、その中国の考古史に一つの足跡をつけ加えたと云われている。西安の郊外東へ35軒離れたところ瓊山の北麓で農民が井戸を掘っていたところ陶製俑の破片と青銅兵器が出土して、それ以後の調査で陶製俑8,000体、戦車300余台が発見された。現在兵馬俑は大きな体育館等、三棟の建物に1号坑、2号坑に分けて保管され、見学することができる。

一つの建物の大きさはいちょうホール全体くらいあるが、建物の内壁に沿った通路からから5mくらい下に展示してある兵馬俑を見る形になっており、その姿はまさに圧巻といえる。

隊列をなす兵と馬は、ちょっと小ぶりの大人であったり小型の馬である。その姿勢や各々の顔、腕の位置、手の指の形等も微妙に違い、よくもこれだけの数を作ったものか。1号坑は歩兵と戦車、2号坑は騎兵と車兵等の混成軍、3号坑はこの地下大軍の総指揮機関と云う、この全ては中国で初めての封建皇帝、秦の始皇帝の陵園にあり、巨大型兵馬俑殉葬坑と云うことが明らかになったと云う。一説には未だ発掘する所があるが、現在の処で取り止めにしていると現地案内人は云っているが、中国を知る人は総てを掘ってしまうと中国の歴史を変更しなければならない、と謎めいた事を云う。人々様々でロマンをかき立てるようだ。とにかく中国という所は途方もなく広く大きい。

坑の兵士の持つ武器、馬具、戦車など青銅で精巧に作ってある。この天文学的な仕事を、誰がどの様な方法で、又、何年にかかってやった仕事なのかただただ驚くことばかり。最初にこれが発見した農夫は今、3号坑の売店で小ざっぱりした服装で記念本のサインをして一日を送っている。

兵馬俑それは一つの歴史を見る思いです。

野末孝雄 記

◎2月例会報告

日 時 1998年2月18日（木）

場 所 エルシィ3F 橘

出席者 会員 41名 来賓 1名

○議事

1.会長挨拶

2.来賓紹介 八王子南ロータリークラブ 酢屋会長

3.新入会員紹介

◇推薦者 八王子南R.C小林茂次郎様（体調不良のため）

代理大野聖二会員より小原氏の紹介あり。

4.幹事報告

1) 第三回生涯学習サロンが2月25日に開講される、応募者64名。

2) 品川及び堺プロバスクラブに案内書と昨年度のまとめの冊子を送った。堺プロバスクラブより規約・97年度活動状況などの資料送付あり。現会員34名、50名を目標にしている。

3) 3月11日・4月8日の例会は学習サロンの開催日でもあるため、例会開始時刻を12時とする。

5月13日野外サロンの参加者は、4月例会で会費3,500円を徴収する。

5.各委員会報告

<会員委員会>

- ・入退会細則、前回配ったものに不備があったので本日新たに配りなおした。
- ・須田義次氏は平成10年12月末で退会。

<情報委員会>

- ・趣味調査のプリントミスは、プロバスだよりNo39を参照して訂正して下さい。

<研修委員会>

- ・コミュニティ振興会より取材を受けた、プロバスクラブ紹介記事の掲載された「わがまち八王子」が3月1日の新聞折り込みで配布される。プロバスクラブでは別に入手して、例会時に配布予定。
- ・前回提案し、たよりNo.39に掲載したように、学習サロンの司会者としてご協力下さい。
- ・サロンの科目選択表は、記入後本日回収。
- ・サロンの概要を短くまとめたが、変更があれば申し出を。

<例会委員会>

- ・3、4月例会は12時より。
- ・報告に各委員会からのみでなく「その他」の項を設けるので、会員からの声を出して下さい。（次回より）

<地域奉仕委員会>

- ・学習サロンの準備は順調に進行している。

参加者 66名（レピーター31名、会員紹介12名、メディア23名）

- ・学習サロンでは各委員会に係分担をお願いする。

・開会式の予定

(1) 会長・来賓挨拶 (2) 地域奉仕委員長の説明 (3) オリエンテーション

・4グループに分かれ、各委員長より説明 ・サロン科目選択表の回収 ・PC会員は委員長と同じグループへ、地域奉仕委は分散参加 ・科目は参加者の要望に応える、調整はPC会員で行う ・サロンでの喫煙はできる限りひかえる ・2月25日は開始30分前までに集合のこと

<その他>

・「モンゴルに生地寄贈」の新聞記事について (立川会員)

・八王子フィルハーモニー合唱団演奏会について (〃)

・モンゴル親善協会設立について 会員募集中 発会式4月3日 於：エルシー (桂会員)

6.学習サロンに向けて、各委員会の打ち合わせ

7.閉会の言葉 (田子副会長)



ゴルフと道具

中野 義光

ゴルフをなさらない人には申し訳ございませんが、ゴルフをやる者にはいつも話題になる「弘法筆を選ばず」とは昔のたとえとしてよく言われる言葉であるが、実は習字のみならず、今は筆を選ぶ時代になっている。私は油絵も習っているが、いい絵の具はいい色を出すものです。染料などもドイツなど外国品にはかなわない。

さて、ゴルフ道具(特に今回はドライバー)も最近チタンだ、セラミックだ、カーボンだと横文字の素材が出廻っているが、ゴルフ界のキーワードは「飛ぶ」「曲がらない」の二つに尽きる。いつまでたってもスコアが伸びないゴルファーの願望はボールが「よく飛び」「曲がらない」と言う言葉に集約されるから、新しく開発されるセールストークもその点に集中するのは当然である。

そのようなまい話しのせられて、それを秘密兵器としてコッソリ手に入れ、ゴルフ場は飛距離が伸びる、曲がらないというクラブ(道具)がフェアウェイにあふれているのが現状であろう。その反面、アベレージゴルファーの平均距離が伸びたという話は聞いたこともないし、また、ボールを曲げる人が少なくなったので打球を目で追うのが楽になったというキャディーさんからの話も聞いたことがない。ものの本によると新素材のクラブを使ってマスターズトーナメントに優勝した人は未だいないとか。クラブを変えればスコアが良くなると信じるのがゴルファーの心理であり、これは女性があればこれとブランドものの化粧品を選ぶ心理と似ているとか、どれを使っても変わりばえしないで、美しく見えないのは自分のせいでなく、化粧品との相性がよくないからだと思いこみ、次から次へとブランドを変えてゆく心理とおなじであると、ものの本で読んだことがある。

もう、あれこれとゴルフクラブに迷うのはやめようと思いつつ、タカがボールをたたく道具でしかないのだと悟りつつも、新聞等に新しい素材の「曲がらぬクラブ出現」だと言う記事が出ると見入ってしまうのである。

今から35~40年前の話で申し訳ないが給与が月2~3万円の時代に、ゴルフクラブの値段が1本数千円であり、メーカーはウイルソン、スポルディング、マクレガー、日本製はミズノが多かった。初心者はウッド1・3、アイアン3・5・7・9・P・SW・パターでハーフを揃えるのが精いっぱい、フルセットを持っている人は少なかったと記憶している。今と比較してクラブの値段は変わってないし、逆に大量生産で安くなっている。又、この頃は今のボール位置を印す「マーカー」はなく、赤い毛糸を1~2cmに切り、なくしやすいので5~10ヶ位持ってプレイしたものである。

◎3月例会報告

日 時 1999年3月11日（木）12時より

場 所 エルシィ3F 富士

出席者 会員 46名 来賓 1名

○議事

1.会長挨拶

2.来賓紹介 八王子南ロータリークラブ 酢屋会長

3.幹事報告

野外サロン・・・・・・・・・・参加費・・・・・・・・3,500円

サロンさよならパーティー・・・・・・・・〃・・・・3,000円

4月8日の例会で
徴収する。

4.各委員会報告

<研修委員会>

- ・コミュニティ情報紙「わがまち はちおうじ」に掲載のプロバスクラブ紹介記事により、自薦で入会希望者が数名あった。

会則によりプロバスクラブ会員又は南ロータリークラブ会員の推薦が必要である旨伝えた。

<情報委員会>

<会員委員会>

<例会委員会>

- ・野外例会の時の写真を未だ受け取っていない方は申し出てほしい。

<地域奉仕委員会>

- ・オリエンテーションで科目選択表を提出していただき、集計したが、一部科目に集中傾向があった。サロン会員については第一希望通りとし、プロバス会員で人員調整をした。

3/11 大草原の国 モンゴル

3/25 横浜開港と仲居屋重兵衛

4/8 くらしの中の色彩

4/22 自分にとっての人生最後の言葉とは？

この4科目については助言者、司会者、記録者のみとし、以外のプロバス会員は他科目に割りふった。

サロン司会者に

- ・楽しく語り合う場とするための配慮を。
- ・4時10分修了を厳守。
- ・会場への入場、着席など混乱しないよう誘導を。
- ・サロン第1日目が始まるが、全会員協力方よろしく。

次頁に続く

<その他>

◇ゴルフクラブ設立について、アンケート依頼（岩岡会員）

◇コミュニティー紙により、プロバスクラブ入会希望者があるが、従来の方法でよい。（藤野会員）

- ・5人程問い合わせがあったが、プロバスクラブ会員又は南ロータリークラブ会員の推薦が必要であることを説明しておいた。（桂幹事補佐）
- ・理事会でも話題になった。従来通りとする。（野口会長）

5.閉 会

プロバスソングの後、サロン開催中に不測の事態が生じた場合、指揮系統一本化のため、平原委員長の指示に従うことにしたいという田子副会長の言葉をもって例会を修了。

◎新入会員 推薦者 大野聖二会員

関 戸 一 郎氏 （昭和4年11月1日生） 八王子市散田町3-19-20 TEL0426-61-4617

現役時代の主な業務 （株）セキド 副社長

趣 味 囲碁、ダンス、ゴルフ

所 属 会員委員会

◎退会者

小 町 和 義氏、 杉 田 房 子氏 3月末日にて退会

スイス人はお金持ち

鈴木幸雄

ユダヤ人は商売上手と云われています。日本人3人で、やっと1人のユダヤ人に太刀打ち出来るそうです。そのユダヤ人が3人掛かりで、やっと1人のスイス人と五分のつきあいが出来ると云われているほど、スイス人（ドイツ、フランス、イタリア系そして先住民族のロマンシュ人の内、主としてドイツ人）は商売が上手と云われています。スイスは、平和の国といわれていますが、十数年前イランとイラクが戦争したとき、スイスの武器商人は両方の国に武器を売り、巨額の利益を得ていたことはあまり知られてないと思います。

スイスの銀行また然りです。外国人の非居住者がスイスの銀行に口座を持つことは非常に難しいですが、もし口座を開くことが出来たとしても、預金に対して逆利子を取られています。即ち、預金は目減りしているのです。それでも安全性、秘密厳守 etc. のメリットから口座を開けたい外国人は数多くいます。フィリピンのマルコス元大統領の秘密口座は一時世界の話題になったことがありました。又、外国マフィアのダーティ・マネーもスイスを出るときには、いわゆるマネー・ローンダリングされ、清潔なお金となって出ていきます。でも、諸外国から批判を受け、改善されつつあります。スイスが小さな国でありながら、中立を保つことが出来る理由の一つは、世界の多くの金持ちたちは、自分たちの口座が維持出来ることを希望しているからです。

私の友人のあるスイス人は、1年ぶんの化粧石鹸を常に家にストックしています。それは、私達日本人には想像もつかない理由からです。石鹸は古いものから使用すると、固くなっていて、減りが少ないと云うのが彼の持論です。

国民一人あたりのGDPは年間4万ドルを超え世界で有数な金持ち国民ですが、平均的スイス人は、普段は、つましい生活をしています。

◎4月例会報告

日 時 1998年4月8日（木）12時～13時

場 所 エルシィ3F 橋

出席者 会員 38名

○議事

開 会

会 食

1.会長挨拶

2新入会員紹介

推薦者、入会者共に都合で欠席されたため、紹介は次回とする。（井口会員委員長より、委員会及び理事会において入会承認された旨説明）

◇大木 富士弥 昭4年12月18日生 八王子市緑町177 TEL0426-22-6782

現役時代の主な業務 多摩製粉株式会社 専務取締役

得意な技能：ゴルフ、囲碁

所属：会員委員会

◇川 口 實 昭6年11月15日生 八王子市千人町2-9-1 TEL0426-64-7241

現役時代の主な業務 数社の会長を歴任、日中合弁川理有限公司会長、大連理工大学名誉教授

得意な技能：日本文化論を研究 八王子今昔物語を執筆 所属：会員委員会

3.幹事報告

①学習サロンは順調に進行中である。

参加状況

開講式	一般会員	57名	プロバス会員	37名	計	99名
第1日		47		45		92
第2日		46		33		79

②野外サロン会費、本日徴集。

プロバス会員については、当日が移動例会と考え、昼食代は、例会時の食事代として徴集額は5,000円とした。

③6月例会は、野口会長年度の最終回なので、総会とする。

日 時 6月10日（木）午後6時より

会 場 ベジターブル

特別例会費 5,000円 （当日まで出欠確認日がないため、本日（4/8）の出欠調査を確定数とする。以降はキャンセルがあっても返金しない。）

4.委員会報告

①研修委員会

②情報委員会

③会員委員会

④地域奉仕委員会

} 特になし

3月末で退会者2名あり

1) サロンD.「女流俳人…」は、助言者急病のため中止する。当サロン参加者は、第二希望のサロンへ移動する。

2) 野外サロン資料は、野口会員、大野（聖）会員と下見をして作成した。一般参加者には当日配布する。裏面につづく

5.その他

桂会員より、モンゴル親善協会発会式について、プロバス会員の協力に感謝。

6.閉会

プロバスソング斉唱後、田子副委員長より、鈴木研修委員長入院、北原会員再入院、お大事にという報告も兼ねた閉会の辞で終了。

忘れられなくなった人

大山 泰

田中丘隅（後に休愚）という人をご存じだろうか。子供の頃から歴史は苦手であった私は全く知らなかった名だ。

この頃あちこちの町を歩いていると、教育委員会などが立てた案内表示を目にすることが多い。その土地の史跡や旧跡・ゆかりの人や屋敷跡等々。

田中丘隅の名前を初めて見たのは、川崎でだった。六郷川を川崎側に渡りきって直ぐに斜めに右に入る細い道を行くと、高さ5～60センチの御影石の角柱に「旧東海道」と彫ったものが、歩道に立っている。今はその面影もないのだが、この辺りから江戸時代の旧川崎宿になるらしい。

本町二丁目右手、小児科医院の前に「田中本陣跡」という標柱に並んで「田中丘隅邸跡」という案内板があり、そこに『当時の川崎宿は疲弊しており、幕府の援助を受けたが田中丘隅の働きで宿財政も立ち直った。』というような簡単な説明が書かれていた。

このような案内板で、これまでも何人もの人の名を見てきた。その時はああそうかと思ったりするのだが、後まで覚えているものは一人もいないといってもいいくらいだ。だから休愚の説明を見たときも、ここにもこんな人がいたのだなど、いつものことでさして気にも留めずいつしか忘れていた。

ある日ドライブの途中、あきる野市の五日市街道沿いにできた農産物を直売する施設「ファーマーズセンター」に寄ったことがあった。入り口を入るとロビー風の広間があり、そのロビーに「郷土の偉人・田中丘隅」というパネル展示がしてあった。どこかで見たような気もするがと思いながら展示をみているうちに思い出したのだ。しかし、川崎の人がどうして「あきる野」でと、パネルを良く見ると、この人は現在はあきる野市になっている多摩郡平沢村の生まれで、後に川崎の本陣田中家の養子になったことが分かって納得できた。自分とは全く関わりがないと思っていた人が、同じ多摩の人と言う事で、ちょっと興味をそそられたので、百科事典や人名辞典などで調べてみたら、農政に関する著書「民間省要」を著したり、川の改修工事なども行い、幕府に認められて代官に取り立てられたりしている。しかも、幼少の頃には八王子の大善寺で学んだということだ。そんな事が分かってくると全く知らなかった人なのに、妙に親しみを感じ、俄に身近な存在になってしまい、今では田中という姓を目にすると、「休愚」の名が直ぐに浮かんできってしまう。出会いというものは誠に不思議なものだ。

プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第43号

編集・発行：情報委員会

1999. 6. 10

◎5月例会報告（生涯学習サロン、野外サロンを兼ねる）

- 1.日 時 1999年5月13日（木）午前9時～午後4時30分頃
- 2.場 所 都立繊維工業試験場および甲州街道（一里塚～駒木野関所跡）
- 3.参加者 プロバス会員32名、サロン会員35名（バス2台に分乗）
- 4.例 会 （車中にて）幹事より、例会を兼ねること、例会委員長より、新入会員2名あり、本日参加されていること、挨拶などは次回行いう旨報告あり。

5.研修内容

1) 都立繊維工業試験場

2階講堂にて平原地域奉仕委員長より日程概要と諸注意のあと野口会長より、野外サロンの挨拶を兼ねて試験場の歴史的な経緯について説明があった。

続いて、試験場の担当者より、染色堅牢度についての説明と、2班に分かれて場内の見学を行った。企画、デザインから製品に至る全ての工程にコンピューターが導入されていることに感嘆の声しきり。一方、織物の伝統工芸にも接することができ有意義な見学であった。

2) 甲州街道

試験場よりプラザホテルの地下食堂に移り、昼食後、野口会長より甲州街道について、その発祥や役割について説明があった。

3) 一里塚

バス2台に分乗し竹の鼻公園へ、ここでは大野（聖）会員より一里塚・永福稲荷・芭蕉句碑について石井（充）会員から八光山の相撲興行・しょうが市・竹の鼻の名の由来などの説明があった後、句碑・顕彰碑を見学。

4) 市守神社、横丁等

徒歩で市守神社へ移動し、神社の由来や市について野口会長の説明を聞いた後、バスで移動しながら、横丁・徳利亀屋・加島屋等の説明を聞いた。

5) 千人同心屋敷跡・了法寺

追分で下車し、追分の道標・同心屋敷跡碑の前で会長の話。歩いて興岳寺へ行く途中了法寺に寄り、お岩稲荷・文護稲荷の説明を大野会員より受ける。

6) 興岳寺

本堂で茶菓の接待を受けながら「千人同心と幕末」について会長より、「石坂弥次右衛門」については土井会員より説明があった後、弥次右衛門の墓を見学。

7) 駒木野関所跡

途中、並木町のカギ型道路と石碑を見学後、小名路を経て関所跡へ。野口会長より、その役割・配置・関守の家に関してなど説明を受けた後、自由見学、記念撮影をして帰途につく。原宿では、どこことなく古い街道の雰囲気を残す旧道を通る。

夏を思わせるような高温ではあったが、湿度の低い好天の中、八王子を再認識した一日を終了した。

次頁に続く

オランダ ベルギーへ

大串 延子

まさに聞きしにまさる光景が目の前にひろがる。念願であったチューリップの季節のオランダ訪問、春の大地を彩るチューリップ畑には息をのみました。

名実共に花大国オランダは沿道の家々も窓を大きく開け白いレースのカーテンと沢山のお花で飾られていました。キューケンホフ公園も丁度開園50周年、この時期2ヶ月間だけ開かれるそうで迷い子になりそうな広い庭園内の花の饗宴に大満足しました。アムステルダムでの宿泊のホテル、クラスナポルスキー周辺の建物、街並み全て17世紀、石畳を歩いて300年前にタイムスリップし、夢の中にいる様でした。

運河沿いのビルは1階が飾り窓で、可愛い女性が明るく笑顔でウインクしていたり、2階は一般の住宅で子供達が遊んでいたりと一寸不思議な感じでした。田園風景の中、水辺に並ぶキンデルダイクの風車はやはりオランダでした。

「ファイク・クーヘン」のオランダ料理に話しがはずみ楽しいウエルカムパーティの後は運河をめぐるクルージングで更に異国情緒を満喫しました。

アントワープ、ブルージュ、ケント、ブリュッセルとバスで移動、観光、研修等をしながら小便小僧にも会い、厳戒体勢のNATO本部も眺め、8日間の旅行の中でどの都市も教会と市庁舎が立派でヨーロッパの良き時代特に繁栄した16、17世紀の建造物、美術品等保存されているのには頭が下がりました。

最後の宿泊地ブリュッセルのアミーゴホテルは“カンゴク”だったと聞き、驚き、時代の進歩にのみこまれることなく、その時そのときの支配者や人々が守り続けて来た歴史がここにある 街づくりの基本を見ることが出来、感動を新たにしました。

帰りの飛行機はボーイング747の最新型スーパー400で座席に一人ずつモニターがついていて映画と睡眠でゆっくりと成田に着きました。時差ボケなんて感じたことはありません！

◎第3回定期総会（1998年7月～1999年6月）報告

日 時 1999年6月10日（木）午後6時～6時30分

場 所 フレンチレストラン「ベジターブル」2階

出席者 会員 38名

○総会内容

1. 開 会・・・司会の濱野幹事のことばで開会 （18：08）

会員50名中出席者38名 委任状8名 計46名で総会成立

2. 野口会長挨拶

3年目の1年間が無事終了する。その間、役員並びに会員諸氏の会務運営上の協力に感謝する。

3. 議長選出、書記、議事署名人選出

選出に当たり、司会一任の声あり。司会者の提案により

議長に野口会長、書記に野末、松尾両会員、署名人に中野、大高両会員を拍手で承認し、議事に入る。

4. 議 事

イ. 1998～99年度事業報告（濱野幹事より）

本年度の運営方針の具体的活動を中心に、配布別紙の様な報告と、合わせて学習サロンの会計報告。

ロ. 1999～2000年度役員選出

選出候補について、議長一任の声有り。議長より候補者（配布別紙）の提案。拍手で承認。

続いて別室にて、担当役員の互選が行われ、結果が発表された。（配布別紙）

ハ. 田子新会長挨拶

新年度運営方針については、新役員とも十分に話し合い、臨時総会を開いて提案する。

5. 閉会・・・野口議長の挨拶に続き、司会者より閉会の辞あり。（18：30）

◎6月例会報告（司会、加藤例会委員長）

1. 新入会員紹介

関戸一郎氏、川口 實氏、共に大野（聖）会員の推薦であり、前月の移動例会には参加されていたが、時間や場所の関係で挨拶が本日となる。

大野会員の推薦の辞に続き、関戸氏より入会の挨拶。川口氏は体調不良で本日欠席。

2. 幹事報告

①次回例会は7月8日（木）12時30分よりエルシィで。

臨時総会を開き、新年度運営方針、会計決算報告、予算審議を行う。

②平成11年度前期分会費 18,000円を例会時に集金する。

3. 委員会報告

①会員委員会・・・本日配布の新名簿に数ヶ所ミスがあるので、再発行する。

②情報委員会・・・学習サロンアンケート集計結果は次回に報告。

③地域奉仕委員会・・・学習サロン無事終了、ご協力に感謝。

4. 旧役員退任挨拶

旧役員を代表して野口旧会長が挨拶

本日の総会に南ロータリークラブを招待したが、役員の交代期で旧役員会と重複してしまい残念ながら欠席となった。鈴木研修委員長が入院中で欠席されたが、お互いに健康保持に努力を。会の運営への協力を感謝。（例会終了 18：52）

5. 懇親会

藤野前々会長の発声で乾杯し、懇談に入る。あちこちのテーブルで話に花が咲き、司会の加藤会員の5段階拍手に続き、田子新会長の挨拶で総会から引き続いた懇親会もお開きとなった。（21：05）

裏面につづく

Z A R E G O T O

石 井 實

♪エッサエッサエッサホイサッサ・・・♪ 童謡「お猿の駕籠屋」の中の「小田原提灯」はヒット商品であった。昼なお暗い天下の陰の箱根越えは重労働であり旅人に身軽さが求められることから小型化→懐中化のニーズを満足させた。小型化されても脆くては実用にならぬことから、竹骨や渋紙に工夫が施され堅牢性が備った。人通りの少ない杉並木の中では狐狸妖怪の出現に怯えるのは人の常。そこで提灯の蓋に大雄山最乗寺の御神木を使用して魔除けの付加価値をつけた。この三得（徳）をセールスポイントに世に普及していったと言われている。

10余年前小田原支店に在籍していた。箱根湯本の歓楽地の真中、菩提寺の境内にひっそりと並ぶ後北条氏五代の墓（鎌倉北条と小田原北条、一世紀の隔たりを再確認したのは汗顔の至り）、太閤の一夜城跡の石垣の名残に栄枯盛衰の無情を見る。その頃のニュースに箱根山もぐら戦争と言うのがある。関西もぐらは大型で強く、関東もぐらは小型で弱い。関西もぐらは東征を目指し箱根山に到達したが岩盤に遮られ今山中では大小もぐらは壮絶に交戦中、障害を突破すれば数年で関東圏は関西もぐらに占拠されてしまうのである。日米経済摩擦を彷彿したのは僻目であったろうか。

経営雑誌に上場企業の寿命も30年と言うセンセーショナルな記事が載ったのは15年前のことであった。

バブルが弾け日常茶飯事的な現象となってしまった。金融機関を頂点に大企業、東大、大蔵省の権威は失墜した。人・物・金・情報の経営要素中肝心な「人」に欠陥が生じてしまったことが最大の因と思う。学校・家庭の教育スタンスに問題があったのか。他人の立場を理解せぬ自己本位の容認に寛大な社会秩序が醸成されたためなのか。傷を舐め合う仲間意識の拡大によるのだろうか。

長引く不況も各機関の実施した景気動向調査の結果では、DIは依然としてマイナス水準乍ら最近改善の兆しが見えてきた模様だ。このまま上昇に転じて欲しいものだ。消費動向にインパクトが与えられれば回復に拍車がかかるのだろうか・・・。

昨今各企業はリストラを志向せざるを得なくなっている。しかしリストラが進めば余剰人員の排出は避けられない。雇用の創出には昔のニコヨンの復活なのか第2第3の小田原提灯の出現なのか。日本人の叡智を信じたい。

我が家の周辺には昔は田畑があり庭先にももぐらが出没していた。今はその気配はない。しかし庭の草取りをしていると、ミミズの繁殖が目につく。地味が豊かになり大好物が増えたのにもぐらは何処へいったのか。もぐら戦争の行方も気になるところである。

◎ 7月例会報告（司会 宮崎新例会委員長）

日 時 平成11年7月8日

場 所 エルシィ八王子例会場

出席者 会員 41 名

来 賓 八王子南ロータリークラブより、副会長 梶原正統、幹事 岩村則宏、プロバス担当委員長
中島 郁夫、社会奉仕委員長 宮田 清 4 氏出席

1. 田子会長挨拶

前年度の役員の活動に感謝し、あわせて今年度のプロバスクラブの活動の充実を期する。
(運営方針 は別刷りにて配布)

2. 来賓挨拶（八王子南ロータリークラブ社会奉仕委員長 宮田清氏）

宮田 清氏のご挨拶の中で9月18日（土）開催の「介護保険フォーラム」について、協力
と出席の要請がなされた。

3. 新入会員紹介

川口 実新会員より自己紹介がなされ、近著「八王子今昔物語」をたずさえて、考古学者
シュリーマンと八王子の関係についての興味深い話を披露された。

4. 北川新幹事報告

A) 平成11年度委員会組織表を配布（別刷り）

B) 平成10年度決算案を承認、11年度の予算案は8月例会に提出する。

C) 8月例会は盆休みと重なるため、特に19日（第3木曜日）に変更する。

5. 委員会報告

立川（研修）、石井（情報）、野口勝（会員）、宮崎（例会）、吉田（地域奉仕）各委員長よ
り、それぞれの抱負が述べられた。

6. その他

1) 大山泰前情報委員長より、第3回学習サロンのアンケート集計について報告がなされ、次
年度の計画を立案するに当たって参考にされたい、と希望が述べられた。

2) 岩岡茂之会員より、ゴルフ同好会結成及び第1回コンペ開催（9月16日、相模湖カントリー
クラブ）の計画が発表された。

3) 例会閉会后、委員会毎のテーブルに分かれ、新委員の顔合わせと連絡が行われ、逐次解散
した。

弓道を楽しむ

野口 勝久

会社に勤めていた頃は転勤が多く、各地でゴルフを楽しんだが、職を離れてから弓道に転向した。ゴルフから他のスポーツに変わるのには難しいといわれるが、私は旧制高校で弓道部に在籍した経験があり、容易に転向できたと思う。八王子弓道会に入会し、毎日のように弓を引いている。幸いなことに旧御陵駅に隣接した市有地に、会員の浄財で建てた弓道場がある。会員は約100名で主として中高年の男女が随時自主的に弓道を楽しんでいる。

道場では十五間三尺（28 m）の距離に三尺二寸（36 cm）の円形的のりを置き、矢が的のどの部分に的中しても当たりとするしきりである。現在の弓は昔の戦いの弓ではない。昔の弓は長さが短く強い弓であったが、現在は長い弓に変わり、強さも比較的弱くなっており、従って射型も美しい。

射法は両足を開いて立ち、腰を据え、背骨を伸ばし、矢をつがえ、背骨を中心として両腕を左右一杯に開いて弦を引き、呼吸をととのえ、狙いを定め矢を放すのである。その時静寂の中で弦音が響き、矢が的を射ぬいて的中音が聞こえる。

その瞬間はまことに心地よいものである。和服、袴、白足袋を着用（通常は略装）し、礼に始まり、射法に従って動作し、射の終了と同時に礼をして退場するまでの一連の動き、射型、態度は見えて美しい。

弓道は儒教の影響をうけ、武士の倫理として育成された。正しい射の修行により人格の向上が期待できる。現在では弓道の大衆化、国際化が進んでおり、射会では的中数を競うスポーツになっているが、弓道における礼の精神は堅持されている。道場では和やかな雰囲気の中で、的中を楽しみながら、品格のある射をめざし励んでいる。

大活字本のこと

大活字本をご存知だろうか。文字通り活字が極端に大きく、読みやすい。字数を調べてみると、1 ページあたり 11 行の 30 字、つまり 330 字である。手もとの一般書は、17 行 41 字で訳 00 字、これと比べると縦も横もゆっくりして、活字はざっと 4 倍大きい。道理で読みやすい。

奥付に、発行所は社会福祉法人埼玉福祉会とあり、限定 500 部、価格 3500 円＋税とある。部数の少ないわりに、価格は押さえられ、発行者の苦心は想像に余りある。

この大活字本、八王子では千人町の市立中央図書館におよそ 2 棚、数百冊ある。文芸書から入門科学書まで範囲は広い。小説で言えば森鷗外にはじまり、漱石、荷風、潤一郎とある。坂口安吾、井上靖、遠藤周作、吉行淳之介、加賀乙彦もあり、幸田文だって‘流れる’にはある。かなりの眼利きの編集である。

主力はいわゆる大衆文学で、山本周五郎は数が多い。大佛次郎、舟橋聖一、獅子文六と物故作家の新聞小説が並ぶが、一時代を劃した吉川英治は見当たらず。向田邦子、宮尾登美子とあっても、女流では曾野綾子は冷遇されている。理屈っぽいのは駄目なのかも知れない。

池波正太郎、藤澤周平と来れば直木賞ラインであるが、推理小説は少々うるさく、小栗虫太郎、橋外男、半七捕物帖（岡本綺堂）から銭形平次（野村胡堂）果ては西村京太郎まで揃っている。

眼が弱くなって、文庫本など活字の小ささに難渋するのは、私だけではないと思うが、このての大活字本の充実を望むこと切なるものがある。

さし当たって、読みたいと思うものに山本周五郎“縦の木は残った” 大岡昇平“レイテ戦記” などがあがあるが、いずれも大冊ゆえ、発行は無理かも知れない。気長に待ちの姿勢あるのみか。

（み）

プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第46号

編集・発行 情報委員会

1999.9. 9

◎ 8月例会報告（司会 宮崎新例会委員長）

日 時 平成11年8月19日（特例として第3木曜日）

場 所 エルシィ八王子例会場

出席者 会員41名（新会員2名を含む）

来 賓 八王子南ロータリークラブから、会長 坂本俊雄、幹事 岩村則宏、プロバス担当委員長 中島郁夫、同委員長 神山晴雄、同委員 増田 信 各氏の出席を頂いた。

○ 議事

1. 田子会長挨拶

挨拶の中で出席いただいた来賓に対して感謝の言葉を述べられた。

2. 来賓挨拶（八王子南ロータリークラブ会長坂本俊雄氏）

田子会長との個人的な縁の近さなどにも触れられ、プロバスクラブとの交流を大切にしている旨の挨拶のあと、9月18日開催の「介護フォーラム」に対する当クラブの支援体制について、感謝の言葉が述べられた。

3. 平成10年度決算書及び平成11年度予算書

司会者より、本来ならば臨時総会を開催して審議してもらうのが筋と思うが、本例会において、処理させて欲しい旨の発言があり、了承された後、決算書については野口前会長が、また、予算書については北川幹事から別紙の資料に基づきそれぞれ説明がなされ、いずれも異議なく承認された。

4. 運営細則の改正

田子会長より、地域社会との結びつきを強化していく狙いから、その相談にのっていただける適任者を顧問にお願いできる、とする別紙の改正案が提案され、承認された。

なお、本件については例会に先立って開かれた理事会において大野聖二初代会長が顧問として推薦され、同氏もこれを承諾されている旨報告された。

5. 新入会員紹介

推薦者による推薦の言葉の後、それぞれの自己紹介がなされた。

☆小室俊一（こむろしゅんいち） 推薦者：川口 實氏

昭和6年6月27日生 八王子市子安町2-25-14 TEL.0426-42-0265

現役時代の主な業務 三井海上火災 代表取締役副社長 三機工業 監査役

趣味：歌舞伎鑑賞、小唄、旅行、ゴルフ

☆近田正人（こんだまさと） 推薦者：大野聖二氏

昭和9年9月21日生 八王子市追分町10-4-902 TEL.0426-27-2703

現役時代の主な業務 農地開発機械公団北海道支社、同本社経理部。平成3年から国際協力事業団。

趣味：囲碁（初段）、郷土史研究

6. 幹事報告（北川博孝幹事）

- 1) 7月例会の際、八王子南ロータリークラブから協力を依頼されていた「介護フォーラム」への当クラブ関係の参加予定者は現在93名となっている。
- 2) 新入会員2名の所属は「会員委員会」に決定した。
- 3) 改正した運営細則は次回9月例会の際配布する。

7. 各委員会報告

○研修委員会（委員長 立川富美代氏）副委員長は中野義光氏

新しい企画としての“みんなで歌いましょう”（10月28日開催）を別紙で紹介、会員多数の参加を呼びかけた。

従来の卓話形式を変えて一人の持ち時間を短縮、一回につき二人の卓話が行われるようにしたい。

移動例会については、現在「鎌倉の仏像」をテーマに11月実施を目途に計画を進めている。

○情報委員会（委員長 石井充氏）副委員長は須藤英雄氏

一部の誤りを訂正しながら、プロバスだより代5号の補足説明を行うとともに会員対象のアンケート（別紙）に対する協力を要請した。

○会員委員会（委員長 野口勝久氏）副委員長は下山邦夫氏

特に報告事項なし。

○例会委員会（委員長 宮崎浩平氏）副委員長岩岡茂之氏

八王子南ロータリークラブとの合同例会の可能性を検討中。今回も同クラブ側から5名の方に出席していただいているが、このようにして双方の意思疎通を図っていくことが大切との意見が開陳された。

○地域奉仕委員会（委員長 吉田信夫氏）副委員長は山下安雄氏

学習サロンの内容や進め方については現在、前回のアンケートの結果を参考にして検討している。

8. その他

- (1) 石田会員から、老人保健施設協議会が主催する下記フォーラム（「21世紀に向けて八王子の高齢社会を考える」・詳細は別途配布の案内チラシ）に対して、当クラブの後援を求めたい旨の要請があった。

開催日時：11月13日（土）午後1時30分より

場所：生涯学習センター（クリエイトホール）

パネラー：沖藤典子氏（ノンフィクション作家・高齢社会を良くする女性の会）ほか。

- (2) 立川会員より、9月5日開催の日独交流演奏会（八王子 ↔ ケムニッツ）の案内とチケット購入について協力して欲しいとの要請があった。（案内チラシは別紙）

- (3) クラブ初のゴルフコンペについて、岩岡会員が別紙資料により説明がなされ、例会終了後、参加・不参加の申出書を回収した。

◎プロバスアンケート（1）

情報委員会まとめ

8月の例会席上で協力をお願いしたアンケートの集計結果報告（回収率約80%）

第1問は、尊敬する（好きな）日本人。

複数回答も含め、延べ32人。時間と空間を限らなかったため、聖徳太子から曾野綾子に至るまで、バラエティに富んだ人物展開となった。底流として感じられるのは、プロバスの片寄らない良識である。

最高点は、吉田茂（須藤、中野、岡田、石井）の4点。次いで福澤諭吉（山下、長町）の2点。他はすべて1点と散らばった。兼好（川口）、良寛・道元（土井）、二宮尊徳・聖徳太子（近藤）、秀吉（須藤）、伊能忠敬（下山）、龍馬（岡田）、西郷・勝海舟（小室）、高橋是清（北川）、田中正造（藤野）。

学者、芸術家という大枠でくくれば、天野貞祐（小原）、津田左右吉（野口正）、西 周（川口）、小泉信三（岩岡）、川上肇・内田吐夢（渋谷）、湯川秀樹（下山）、谷崎潤一郎（石田）、司馬遼太郎（野口勝）

<前ページより続く>

更には、江藤淳（北川）、山本夏彦（向山）。彫刻の佐藤忠良（桂）。
女流は三岸節子・住井すえ・岡本かの子（古川）、曾野綾子（大串）。
岡田良一（大高）はこの枠には入らないかも知れぬ。

（文責：石井）

—————次回は、近頃はらの立つこと—————

二つの故宮

須藤英雄

昨年、会社の旅行で台湾に行く機会があった。台湾を訪れる日本人旅行客の殆どが立ち寄るといわれるのが台北にある国立故宮博物院、帰国前の慌ただしさの中、私どもも参観する時間を持つことができた。山腹に掘られたトンネルを貯蔵庫として、そこに収められている文物の数は、およそ62万点余、常設展示数が約2万点で、3カ月から半年に1回の入れ替えであるため、全部を展示するのには10年以上もかかるというのであるから、その所蔵量の膨大なことに先ず圧倒されてしまう。

ただ、この膨大な量も、所蔵されている文物が、商（殷）王朝時代の甲骨文字に始まり清王朝の陶磁器などに至る3千年の歴史を刻んだものであり、その間、中国を支配した国の歴代の皇帝が熱心に収集に励んだ結果だとみればさほど不思議ではないのかも知れない。

2時間程度の参観時間では、駆け足で館内を通り過ぎるようなもので、目にふれる文物にも限りがあったが、それでも、熟練の案内人に恵まれ、牛骨などに刻まれた甲骨文字や故宮の秘宝として色々な文献に紹介されている陶磁器、玉器、青銅器などを目にすることが出来たのは幸いというべきであろう。また、これだけの量の、しかも質の高い文物が本来の故宮（北京）ではなく、なぜ台湾（台北）にあるのか不思議であったが、その答えは、満州事変に始まる日本の大陸侵攻、続く国共内戦という戦乱の歴史にあったようである。

日本の大陸侵攻に対して、木箱などに梱包し、上海、南京を経由のうえ山奥に疎開させて難を逃れた故宮の主な文物を、戦後、国共内戦に敗れた蒋介石麾下の国民政府軍が台湾へ脱出した際、持ち込んだものである。

慌ただしい台湾への脱出のために、大陸に残されたものもあり、それが北京の故宮博物院の所蔵品となっているとのことで、機会があれば、是非そちらの故宮にも訪れたいと思っている。

プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第47号

1999.10.14

編集・発行 情報委員会

◎ 9月例会報告（司会 宮崎例会委員長）

日 時 平成11年9月9日

場 所 エルシィ八王子例会場

出席者 会員42名（新会員2名を含む）

来 賓 八王子南ロータリークラブより、会長 坂本俊雄氏出席。

○ 議事

1. 田子会長挨拶

本会の四つの方針に従って、各委員貝とも着実に進んでいる。今後一層の精進を。。

2. 来賓挨拶（八王子南ロータリークラブ会長坂本俊雄氏）

メキシコの16歳の女の子を預かっている。機会があれば、本会に連れて来たい。

3. 北川幹事報告

1) 南ロータリークラブの機関紙に、大野聖二氏が本会の顧問に就任。ロータリークラブと本会との合同例会の立案記事ととが掲載された。

2) 大阪府のプロバスクラブより10年度の活動報告を受けた。会合時間は2時間、講話（外部の人）と卓話（会員）の二本立て。

3) 病欠者 北原満夫会員 入院中・鈴木幸雄会員 自宅療養中

4) **会則等の改正 会則第9条 幹事補佐を副幹事に。運営細則第9条 顧問の設置。**

4. 委員会報告

立川研修委員長

1) 10月28日の「みんなで歌いましょう」の会に是非出席を。

2) 11月11日鎌倉方面へ、美しい仏像を拝観予定。

宮崎例会委員長

「プロバスソング」を例会の終了時でなく、始めに歌ってはどうか。

吉田地域奉仕委員長

1) 予め参加者にサロンを選定してもらい、時間も2時間を使用して充実を図る。詳細は別紙参照

2) 特別講座の講師2名を内定。助言者も内定しているので11月例会で発表する予定である。

3) 囲碁大会を12月16日に開催するが詳細は別紙参照のこと。 (2ページへ続く)

5. 卓 話

☆安藤美代子会員

「八王子空襲の思い出」8月1日の大空襲。夢中で父と力を合わせて火を消した。至る所に死体
がごろごろしていて、目を覆う惨状だった。この中で朝鮮人の怪我の手当をしたが、後日お礼の品
を持参してきた。戦争とは言え悲惨な光景を実体験し、身を以て命の貴さを味わった。

☆大山 泰会員

新校長となって運動不足解消のため、歩く努力をした。旅行も東海道・中山道等なるべく歩く。
現在は車社会のため、なかなか歩き難い。人間より馬力のある車が優先し、人が歩こうとすると大
変不便な道になってしまっている。

6. その他（石田雅巳会員）

11月13日午後1時半より「21世紀に向けて八王子の高齢社会を考える」詳細は別紙参照。

プロバス会員アンケート（2）

◎ちかごろ腹の立つこと

短い時間のアンケート回答で、5人以上が同一の、または大変似た意味の回答を寄せられている。

ざっとまとめれば

- （1）自・自・公連立の無原則と無定見。
- （2）台風によるキャンプ事故の犠牲者の無知。
- （3）民放テレビの無軌道な番組編成。

この3つが槍玉にあげられている。説明の要もないが、**無定見**、**無知**、**無軌道**のオール**無**印である。情
無い話だ。

この3点ほどに数は多くないが、「国政」という括り方が許されるなら、外政、内政を問わず、その
ありかたに不満がうっ積する。ここにも、**無原則**、**無思想**、**無恥**の**無**が並ぶ。

一方で、若者の言動に対する苦言も目につくが“年寄りの冷水”と言われるのも心外だし、ここでは
深くは触れない。ただ、敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）の混乱についての言及は、一理も、二理もあ
る。もっと広く“日本語の乱れが心配”という意見も当然ながらある。

“戦前が始まった”という聞きようによっては、肌寒くなる言葉もある。長い人生の修練が、鋭敏な
感覚をもたらすのかも知れない。

それにしてもプロバスの理性健在の感が強くしてならない。

（文責・石井）

プロバスクラブ第1回ゴルフコンペ開催

会員の親睦と交流を深め、会の発展を目的として、かねてより計画されていましたがゴルフコンペが9月
16日（木）相模湖カントリークラブにおいて5組（18名）と多数の参加を得て盛大に開催されました。

当日は八王子南ロータリークラブより榎本博行氏、中島郁夫氏、加賀谷 恵氏、小林 滋氏の参加を頂き、
南RCとの交流をはじめ、会員相互の親睦も十分達成され、今後の活動に生かされるものとおもいます。

前日まで残暑が厳しく、大会当日の天候を心配しましたが、幸い当日は気温も下がりゴルフに最適な天

（3 ページへ続く）

候（一時雨）に恵まれ、最良のコースと山々の濃い緑に囲まれ、参加者全員が気持ち良く最高のゴルフを楽しむことができたと思います。しかしながら、中には結果に不満足な方もいたかと思いますが、次回には上位入賞を目標に頑張られるよう期待しています。

また、コンペ終了後の懇親会は田子会長の出席を頂き、八日町とん作で開催され、ゴルフの結果の反省やら失敗談に花が咲き、長時間に渡り楽しい時間を過ごし、次回を楽しみに散会しました。

尚、参加者全員の成績発表については今回は控えさせていただき、入賞者のみとさせていただきます。（競技は新ペリア方式で行われた。）

優 勝 宮崎浩平会員＜例会委員会＞ 準優勝 小林貞男会員＜情報委員会＞

第3位 渋谷文雄会員＜地域奉仕委員会＞

今回の大会（コンペ）のベストグロス賞は南ロータリークラブより参加を頂きました加賀谷 恵氏が優秀な成績で獲得されました。

また、今回のコンペ開催に当たり例会委員会の岩岡茂之会員に準備から大会会場、運営までご尽力頂きましたことを感謝申し上げ、報告とさせていただきます。
(情報委員会)

介護保険フォーラムに参加して

主催者の南ロータリークラブから協力を依頼され、当クラブ会員も積極的に参加者を募った「介護保険フォーラム」が9月18日（土）、午後1時よりいちょうホールで開催された。開場後、参加者が続々とつめかけ、定刻には800の座席を持つ大ホールが満席となる盛況であった。ロータリークラブ挙げてのPR活動のたまものであったのは勿論だが、要介護認定の申請時期（10月）を前にして、この制度の仕組みをより深く知りたいという多くの人達の気持ちを受けとめた極めて時宜を得た企画であったことがこの盛況をもたらしたのであろう。

フォーラムは山東昭子（前参議院議員）、高野国利（八王子市介護保険対策室長）、金井清次（八王子市医師会副会長）、平川博之（八王子市老人保険施設協議会会長）、高木順一（八王子市議会議員）の各氏をパネラーに、杉山友一氏（南ロータリークラブ）をコーディネーターとして、参加者の質問時間を含め、約2時間30分にわたって行われた。

この介護保険制度の中身については、配布されたパンフレット（すぐ分かる・介護保険・八王子市）をもとに、運営主体の立場から申請手続きなどを高野氏が、医師の立場から要介護認定の審査方法などを金井氏が具体的に説明された。また、他の各氏からも、高福祉は高負担になる恐れもあるので、バランスの取れた福祉が望ましい。個性を無視した一方的決めつけの施策には反対（山東氏）、この制度の趣旨が利用者本位であることを認識して、「いやであればいや。」と言う事が必要（平川氏）、市民が損をしない介護保険となるよう知恵を出したい。この制度を知っている人によく相談されることが大事（高木氏）、など参考とすべき意見が述べられた。

会場からの質問も、従来のサービスと介護保険のサービスとの関係、特養ホームの収容能力の問題、国民に新たな負担を強いる介護保険の成立した経緯など、新たな制度に対する率直な疑問を提起する真剣なものばかりであった。

なお、このフォーラムの様子は、10月16日（土）及び20日（水）のシティチャンネル（CATV）で放映される予定とのこと。
(須藤)

電気の保安と責任について

小林 貞 男

一般家庭での電気配線の保安責任者は電力会社ではなく、現在は設備の持ち主であるお客様にある。

理由は、電気が初めて一般家庭に供給された時代は、すべての設備を電力会社が施工（配電線、引込線、屋内配線等）供給した。特に屋内配線については電力会社の設備であり保安の責任も当然電力会社が持ち維持管理をしていた。S15年頃より需用（工場や新設家屋等）が大幅に増加し、電力会社だけでは対応できず、一部電気工事店に屋内配線を委託し、買取り方式を導入したり、そのままお客様持ち配線として使用したことから先方配線と貸付け配線が混在したまま保安の責任は電力会社に残っていた。更にS20年の戦災で大部分の家屋や電気設備が焼失し、電力会社は配電線（外線）の復旧を専門に、一般家庭の屋内配線は電気工事店が施工し、ここから業務が完全に分割され、屋内配線はお客様施工が定着し、現在では100%お客様施工の屋内配線となっている。

しかし、保安の責任は電力会社にそのまま残り、定期検査も2年に1回実施する義務が続いている。

定期検査を実施し、設備不安箇所（不良箇所）が発見された場合は概ね次の対応で処理した。1）漏電の場合は送電を停止する。2）機器の破損等で発熱の危険がある場合も送電を停止する。3）その他は期間を決めて改修をお願いする。

設備不安箇所の発生率は約3%程度で、件数は800～900件。（半年間）

一方、S30年代後半に入り電気工事の材料が大幅に改善され事故の発生率が減少した。更には配線過電流遮断器、漏電遮断器の開発で漏電事故が減少するなど保安面でも大きく向上した。

以上の状況からS40年頃に供給規定が見直しされ、保安の責任が設備保有者（お客様）に変更され、屋内配線の調査（2年1回実施）の責任を電力会社が負う（調査結果を通知する）ことになり現在に至っている。

チャリティーコンサート

——馬頭琴と歌と踊りと皆さんと——

主 催：八王子・モンゴル親善協会

と き：9月30日

ところ：いちようホール

“モンゴルの子どもに愛を贈る”と銘うったこのコンサートは、当プロバスクラブメンバーの、桂、立川両氏をはじめ、多くの人の熱意で行われただけに成果が注目されたが、定刻には8分の座席が埋まり、ほぼ所期の目標を達成したようだ。（利益はモンゴルへの子どもへ靴を贈る運送費）

鈴木秀明氏の解説も解りやすく、ブヘナサン氏の馬頭琴、オドバル女史の歌唱は聴衆の心を捉えて離さない。日本の「追分」に似るといふモンゴルの「馬の曲」は似るを超えて、親戚間違いなし、と思わせる強烈な印象をもたらした。望むべくもなければ、ちっぽけなホールでなく、大草原のまんまん中で聴きたいものである。

（情報委員会）



プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第48号

編集・発行：情報委員会
1999.11.11

◎ 10月例会報告（司会 宮崎例会委員長）

日 時 平成11年10月14日（木）

場 所 エルシィ八王子例会場

出席者 会員41名（新会員を含む）

来 賓 八王子南ロータリークラブより、会長 坂本俊雄氏出席。

○ 議事

1. 田子会長挨拶

2. 来賓挨拶（八王子南ロータリークラブ会長坂本俊雄氏）

3. 新入会員紹介

それぞれ推薦者の推薦の言葉があり、次の2名の方のご挨拶があった。

◇堀口 進新会員……よろしくとの挨拶があり、趣味としてプレーイングカード蒐集のお話があった。
中学校長の職歴。

◇松本一夫新会員……元 共立女子大学事務長。共立女子大を八王子に建設するに際しての苦労ばなしに奥の深い感があった。

4. 北川幹事報告

1) 南ロータリークラブ主催の介護保険フォーラム（9月18日、於いちょうホール）

① 上記クラブの出席依頼に対し、当クラブは全面的に協力、93名の参加を見、坂本会長より田子会長宛礼状あり。

② 同じく介護保険に関連、9月例会にて石田雅巳会員から紹介のあった八王子老人保健施設協会主催の“21世紀の八王子高齢化社会を考える”（11月13日、於クリエイトホール内、生涯学習センター）への参加希望者を募り、約10名の申込あり。

③ 同じくこれに関連し、9月13日付にて当クラブに対し後援団体として名を連ねて欲しいとの依頼があり、会長了承の上、受諾した。

④ “第20回いちょう祭り”祭典委員会より10月18日付にて、同会名誉会長波多野市長、同会長大野聖二氏連名の前回同様の協力依頼があった。これについて当クラブとしては既に会員数名に対して協力を依頼済み。協力内容は、当日横山事務所内にプロバスクラブコーナーを設け、パスポートへの押印のほか、近藤会員のお点前、安藤会員のエスニック料理の接待、その他、通行手形及びパスポート販売に協力する。（11日の移動例会のバス車中において）

5. 委員会報告

☆立川研修委員長

1) 10月28日（木）の「みんなで歌いましょう」の会に是非多くの方のご参加を。

2) 11月11日（木）移動例会では、野口（正）会員の鎌倉歴史解説と、南ロータリークラブ増田（禎）さんの鎌倉の仏像についての解説で、素晴らしい例会になることを期待しましょう。

☆ 石井情報委員長

- 1) プロバスだより第 47 号の発行。

☆ 野口会員委員長

- 1) プロバスソングを例会の冒頭に歌ってはどうかという提案があったがこれまで通りということになった。

☆ 宮崎例会委員長

- 1) 現在南ロータリークラブと当クラブの連携・交流を密にすることについて話し合いをしている。
- 2) ゴルフコンペは楽しく盛大に行われた。その結果は報告書の通りである。

☆ 吉田地域奉仕委員長

- 1) 平成 12 年第 4 回生涯学習サロンの概要が別紙の通り出来た、会員諸氏よろしくご協力の程を。

6. 卓 話

- 1) 関戸一郎会員 テーマ『今日から明日へ』
氏の生い立ちから セキド(株)の今日までの発展の歴史、兄との協同のことなど、その苦労や努力のあとがよくわかる話であった。
- 2) 小林貞男会員 テーマ『一般家庭における電気配線の保守と安全』
現在家庭内の電気配線の保安責任はその持ち主である各家庭にあるが、かつては全てが電力会社の責任となっていた。
今は正確には、保安の責任は各家庭に、屋内配線調査の責任は電力会社が負うという形になっている。

7. その他

8. プロバスソング

9. 閉会

- ◎ “みんなで歌いましょう” ——少年の日から青春まで—— 研修委員会主催
10月28日午後、表記の会がエルシィ八王子で開かれた。集いし老童20数名、ピアノ伴奏のみが特別参加、芳紀まさに酣の畑野かん奈さん。

懐かしの唱歌‘赤とんぼ’‘おぼろ月夜’に始まり、ちょっと気取った‘夏の思い出’江間章子詩、中田喜直曲と来れば、1950年代の最先端、ロシア民謡‘ともしび’は新宿西口の酒場「ボルガ」の残党 には随喜の一曲。(民謡喫茶の「灯」はずっとあと。)

やがて『軍歌』ともなれば、‘戦友’——ここはお国を何百里——(明治27年生まれのおフクロは、ここは**み**国の何百里と歌っていたつけが)——(祖国をミクニと呼んだ世代。そう言えば、この後段も、**み**国の為だ構わずに、遅れてくれなと目に涙。と歌っていた)ともあれ、これは名歌。十番位までなら、すっと思ひ出す。ほんと、明治は遠い。

思いも掛けず われ一人、 不思議に命永らえて、

赤い夕日の満州に、 友の塚穴掘ろうとは。

抜粋ではなく、通して歌いたい歌なのだ。

コーヒーブレイクのあとは、平原副会長の“わが青春のアメリカン・ポップス”のお話。

まったく、プロバスは、ただは帰さぬ。一つ二つは賢くして帰す。ウンチクが深いのだ。‘センチメンタルジャーニー’ 同名の映画主題歌。封切は多分僕の見た1948年秋、従って、おぼつかぬ英語で、ゴナ・ティク・センチ・メンタ・ジャニ。とあと追いつたのもこの年の筈。‘バッテンボー’は池真理子の持ち歌でもうちよい後か。何と言っても、往時茫々、既にビートルズは立派に古典。

時間のたつのは早く、あっという間の‘アロハオエ’岩岡会員のウクレレが、何とも小気味よいリズム。

老童ども、ロートルたるを肯ぜず、まだまだ、O・B、O・Gの雰囲気にて、ご機嫌そのもの。楽しき午後の一刻でありましたゾ。

委員長はじめ、研修委員会に深謝。

(文責・情報委員会)

—— 随 筆 —— 中世以前の方が中国は近かった ——

能の始祖である世阿弥は、1364～1443年の人である。「花伝書」として、一般に知られている「風姿花伝」はこの世阿弥が40歳前後に著したものです。

父の観阿弥から伝承されたものを、子孫にすべてを伝える目的で書かれ、今日迄、観世家、金春家に一子相伝の書として遺されている。

「花伝書」は、習道論、演出論、猿楽の歴史、能作論、幽玄論、能の生命である花の奥義などからなっているが、紙面の都合で、申楽の一部についてみると、

「第4神儀云（しんぎにいわく）、欽明天皇（540～572年）の御代に秦の始皇帝の再誕と云う河勝（多分中国からの渡来人か、その子孫……川口注）が才智、人に越え、15歳にして大臣の位に昇り、秦（はだ）の姓を賜る。秦の河勝これなり」。

さらに「河勝は、欽明・敏達・用明・崇峻・推古・上宮太子（聖徳太子）に仕え、申楽の芸を、天下少し障ありし時、橘の内裏、紫宸殿にて申楽を奉納した」。又「聖徳太子の申楽延年の記をみると、申楽はその昔、釈尊の住まわれた所＜インド＞に始まり、月氏、震旦（しんたん）を経て日域＜日本＞に伝わる。申楽を奏すれば国おだやかに、民静かに……」と記している。さらに「花伝書」は「村上天皇（946～968年）の御代にこの延年の記にしたがって、秦の河勝の遠孫秦氏安が申楽を奏上している。この秦の河勝、秦氏安の遠孫が観阿弥、世阿弥なり」。と花伝書は伝えている。世阿弥の本名は秦元清であり、風姿花伝の一部はこの本名、秦元清の名でかかれていることが、このことをはっきりとさせている。

この時代、申楽だけでなく人も物も文化も月氏→中国→日本の道すじを通して、ダイナミックに日本へ入ってきたようだ。

今日の様に交通機関の発達したグローバルな世界よりも、国家意識と云う障害のなかったこの時代の方がより近かったのではないだろうか。……花伝書は教えてくれる。

（川口 實）

随 筆 ——白砂糖の怖さ——

皆さんは胸ヤケしたり、胃が痛くなったとき、その原因は何だと考えるでしょうか。

午前様で帰宅した朝ならば、昨夜の飲みすぎ、食べすぎを思い浮かべる人もいるでしょうし、仕事がうまく進まなくてプレッシャーやストレスを感じているからだとも考える人もいるでしょう。

暴飲暴食や刺激物のとりすぎなどの不摂生や、何かとストレスを感じる機会の多い現代ですから、神経の緊張から胃液の分泌の調和が崩れ、胸ヤケやゲップ、胃痛などの不快な症状を伴う急性胃炎も、身近な病気と考えられるそうです。

これらの症状に白砂糖が深く関係していることを或る書物で知りました。白砂糖は、とても安定した糖分で消化されにくい性質を持っているため、何とかして消化しようと努力した結果、胃酸を多く分泌することになって胸ヤケの原因になるそうですが、白砂糖はもともと肉のように胃で消化されたり、穀物などのように口で消化されるものではないそうです。

白砂糖のみを口にしたとき、砂糖は、口も胃も素早く通り抜けて、小腸まで達するそうですが、白砂糖を加えられたパンや肉料理を食べた場合、砂糖は肉とともに胃の中にとどまり、胃を酸化発酵状態にしてしまうそうです。

本来、私たちの身体は、食べ物を消化することで栄養分を吸収するのですが、砂糖によって発酵、腐敗させられたものは一種の毒素となり尿や汗として身体の外に排出されますが、悪臭を発する息や体臭は遠ざけたいものです。また、砂糖によって胃に発生した過剰な酸は胃潰瘍の患者さんと同じくらいの酸性度を示すそうです。私はコーヒーを度々いただきますが、白砂糖は酸性食品の代表格なので用いず、出来るかぎりバランスのとれた食生活で身体を何時も弱アルカリ性に保つよう、努力してまいりたいと思います。

(小阪善治)

◎ 11月移動例会報告

日 時：平成11年11月11日（木） 7:35 バス（富士急行）出発

場 所：鎌倉（名刹と仏像鑑賞の旅）

参加者：会員29名、（新会員を含む）八王子南ロータリークラブからの増田禎司、谷口金治両氏のほか川口会員の友人である大連理工大学教授特別参加もあって総勢32名、早朝にもかかわらず定刻までに全員元気な姿を見せた。

○ 議 事

例会は立川研修委員長の挨拶の後、宮崎例会委員長を司会者として始められた。

1. 田子会長挨拶 挨拶の中で、仏像の案内役として参加して頂いた南ロータリークラブ増田氏の紹介と事前に下見までされた同氏の労に感謝の意を表された。
2. 増田氏、谷口氏、川口会員の紹介を受けた 杜鳳剛氏挨拶。
3. 幹事報告（北川幹事欠席のため、司会者が代わって報告、詳細は別紙）

1) 第20回“いちょう祭り”への協力（参加）

今年のいちょう祭りにも協力することとし、催事場所を前年同様横山事務所内（ユーモア館と称し、館長は桂会員）に設け、近藤会員による“抹茶サロン”や、安藤会員による“エスニック料理”の提供などが行われることになっているので積極的に参加のほどを。また、後刻バス内で通行手形・パスポートを販売するので協力してほしい。

2) 本日実施の移動例会は、個人負担5,000円、クラブ負担2,000円、計7,000円の予算で行う。

3) 新年例会

新年例会は、1月13日（木）、御殿山の日本閣を予定しているが、予算8,000円の内個人負担分6,000円を12月の例会日に集金し、差額の2,000円はクラブが負担する。

4) 後期の会費（平成12年1月～6月分）18,000は、新年例会日に集金する。

4. 委員会報告

○ 地域奉仕委員会（吉田委員長）

第4回学習サロンのご案内と日程表（別紙）を渡したが、講師の方々にはこの日程表を基に準備を

進めて欲しい。なお、特別講話の斎藤耕一氏の演題のうち「青春の条件」は「約束」に変更。

○ 情報委員会（須藤副委員長）

プロバスだより第48号の発行。

○ 研修委員会（立川委員長）

10月28日開催の“みんなで歌いましょう”に20数名の方の参加があり、楽しい一時を過ごし得たことの感謝の意と来年も実施したいのでよろしくとのことであった。また、野外研修について、講師の変更（野口会員から向山会員に）や、昼食の取り方（クラブ負担金をもとに各自自由）などの説明がなされた。

以上で例会は終了し、野外研修に移行。

1) レクチャー

① 鎌倉の歴史（向山会員）

最近、歴史の裏を読むという傾向があり、そのような視点で鎌倉の歴史をたどると、違った姿が見えてくる。例えば、公暁が実朝を襲ったのは將軍職が自分に来なかったことを恨んだというのが通説であるが、実朝の乳母は北条氏の出自、公暁の乳母はこれと対立する三浦氏の出自であることから、両者の権力争いが原因だったのではないか、という裏の読み方もあるなど、興味深いお話であった。

② 仏像について（増田禎司氏・詳細は別紙）

仏像なら国宝仏（現在116体あるという）を、専ら見たいと発心してから、既に30年経つと自ら語られる通り、その蘊蓄の深さは大変なもので、時代のニーズを反映して、飛鳥仏、天平仏などとその特徴を変えていった仏像の変遷について、貴重な話を伺うことができた。

2) 研修箇所

① 覚園寺（真言宗・鷲峰山）

ここは、初め大倉の薬師堂といい、北条義時が建てたものを後に寺にしたという。

この寺の本尊は薬師三尊（重文）で、これを安置した本堂（天井に足利尊氏自筆の棟札がある）には、他に12神将などもある。また、地藏堂にある黒地藏（重文）もここでの見所の一つ。案内に立った寺僧の説明が分かり易く、好感を呼ぶ。



RC増田氏の説明を聞く一行

② 鎌倉国宝館

ここでは、館が所蔵するもの、他の寺院から寄託されている重文級の鎌倉仏が多く見られる。個々の仏像に対する増田氏の解説も丁寧で詳しく、拝観時間の短さが惜しまれるほどであった。

③ 建長寺（臨済宗・巨福山）

ここは、鎌倉五山の第1位とされる臨済宗建長寺派の大本山。北条時頼建立のわが国最初の禅寺といわれ、本尊は地藏菩薩であるが、この寺のほぼ一直線上に並ぶ伽藍（総門、三門、仏殿、法堂など）や、庭園（名勝史跡）が見所のような。

④ 円応寺（臨済宗・新居山）

由来では、智覚禅師の開山によるこの寺は、閻魔堂、十王堂とも呼ばれ、人が死後、亡者となって冥界で出会う十王を祀る寺とのことで、本尊の 運慶作といわれる閻魔大王の座像（重文）が、ひとときわ厳めしい。

以上で研修を終え、帰路についたが、飲み物が配られた車内では、和気霽々の雰囲気の中で、通行手形やパスポートの販売が行われた（売れ行き好調）り、この日誕生日を迎えた増田氏を祝って“ハッピーバースデー”の合唱が沸き起こる一幕もあった。

帰路のバスは順調に走り、予定よりも早く帰着し、平原副会長の閉会の言葉で終了となったが、今回の野外旅行が充実したものになったのは、念入りな計画を立て実行に当たられた委員長始め、研修委員会のご苦勞によるものと改めて感謝したい。

（須藤英雄記）

○いちょう祭りに参加して ——未知の人との楽しい出会い——

プロバスクラブのご縁で大野聖二元会長よりお声をかけていただき、平成10年、第19回の祭りから抹茶席をユーモア館（横山事務所）に設けさせていただいた。このユーモア館の全体の責任者（村長さん）は桂元二会員。我々の場所は二階の和室。お隣の調理室は安藤美代子さんを中心に活躍している東南アジア友好親善のお仲間が作るエスニック料理。満席になる程の盛況。廊下を隔てた部屋は「新世紀大予言」をテーマにした、いろいろの絵や写真のある漫画展。



近藤 泰雲

茶室でのもてなしを担当した方々

また二階の階段のところでは、プロバス面々がパスポートに押印すると同時に、近田会員発案の押印した‘いちょうの葉’を葉にしてお渡する。これがなかなかの好評。この二階はさながらプロバスの集会所の様相を呈した。

私の担当のお茶室は茶室とは云っても、少々使い勝手が悪いのみならず水屋は使用禁止。逆に言えば正式の茶室よりも自由にこちらが考えることが出来て楽しい。「茶とは本来不自由なものを不自由にさせないことにある」と考えれば、これも天の采配を楽しむに如かずと思った。

幸い天候にも恵まれ、横山事務所はいちょう祭りのイベント会場の丁度中間地点、歩き疲れて座りたいという人、また、口が渴いてお茶を飲みたい、っていう方々が来庵。

お茶は本来自然の松風・きこりの斧の音や、川のせせらぎを聞きながら味わうことが出来れば最高それが出来ない部屋のなか、せめて茶筌の音・水を釜に差す音等々で自然を味わいながら「静寂」を味わっていただくことこそ、いろいろの催し物を見たり・参加したりして心身が疲れている方々にとって一服の清涼剤。

夫婦・可愛い赤ちゃんづれのお母さん・友達同士で。お客さんは千差万別。一服のお茶を点て、お客様に飲んでいただきながら、お客様の年齢・顔ぶれ等を見ながら「二宮尊徳・梶尾の明恵上人・道元禅師・紹鷗・利休等」の話をさせていただいたが、初めての人達が大部分でなかなか楽しい。最後に一枚一枚祈念しつつ作った手製のしおり「今日もよき日でありますように」をお渡しして一座終了。茶は芸でもなく、まして嫁入り道具でもない。日本古来の文化と生活習慣を学びつつ、自分を見つめる縁になればと思う。

昨年来来ていただいた方に再会・プロバスサロンでの再会・お医者さんに行ったらそこでお声をかけていただいたりと縁はありがたいもの・出会いとは不思議でありがたいもの。「あなたとの出会い

は天からの贈り物」プロバスクラブのすばらしい方々との出会いも「今日まで生きてきたご褒美」かと感謝しつつ、今年も無事終わった。

歳を経てきたのか、この頃「衆恩」という言葉が身にしみる。このような言葉があるかどうか分からないが、生まれてこの方数え切れない程の大勢の方々にお世話になっての今日の我が身。この茶会を催すに当たり来庵下さった方々・水屋で朝から夕方までの裏方の方々・亭主をして下さった方々等々、大勢のお陰様で今年も無事円成。深謝申し上げます。 合 掌



プロバスコーナーではスタンプを

○いちょう祭りユーモア館プロバスコーナー報告

今回の第20回いちょう祭りには横山事務所にプロバスコーナーを設け、祭りに協力することになった。プロバスクラブの会員はこれまでも、安藤会員が東南アジアの衣、食に関するコーナーを、また、近藤会員がここを訪れた人々に茶室で抹茶を接待して祭りに協力してきたが、今回は2階にパスポート押印コーナーを設けた。

第1日目は天候は良かったものの第3土曜日ということで人出は多少すくなかったが、第2日目は一転して多くの人出で賑わった。

近田会員のアイデアで、いちょうの落ち葉にパスポートに用いるスタンプを押して、パスポートに押印した人に、葉としてプレゼントしたところ、意外に喜んで持ち帰ってくれたことは嬉しかった。それにしても多くの人出であったにもかかわらず、事故が皆無であったことは何よりであった。

<桂記>

七代目橘家円太郎 ――― 八王子の芸人(I)

立川談志のさる対談で“八王子の師匠”橘家円太郎を読んだ。脚注によれば、たちばなやえんたろう(七代目)(1902～1977)「紙屑屋」など音曲ものを得意とした代用教員出身の噺家。楽屋では「八王子の師匠」と呼ばれ、若手に人望があった。とある。

その頃、小さんに入門したて、前座の談志が、「八王子の奇人・橘家円太郎久し振りの出演」なんて書いてあって、あゝ、これが有名な円太郎だなぁと思った。見たら、たいしたこたぁねえ、小汚い人だったけど。」と言う。

まあ、それはいい。その円太郎師匠と私は飲んでいる。不遜にもオゴッテいる。時1950年代、所は駅前、ただ今なら三菱信託のまん前、センセイなる焼鳥の屋台である。センセイの由来は、親爺が昔小学校のセンセイであったと言うのだから、まさしく先生受難の時代であった。円太郎師匠は、落語家と言うよりむしろ音曲師であり、新宿末広亭でも、もっぱら大津絵を喰り、客から寄せられる財物をネタの三題噺などでお茶を濁していた。時計とか定期券とか、手巾、煙草、更には百円札などで即興の噺を作るのである。夕刻、彼は八王子駅から中央線の電車で、お江戸へ“手間取り”に上るのであるが、ピッタリ和服、冬は二重廻し、紋付の羽織を大切に風呂敷包みに納めているのであった。

当然ながら空襲による市中逃散、八王子流入族であったろうが、その姿、その形は、幫間としても、一流のものであると見えた。

旧居は、現、西放射線、岡三証券と竹の家なるラーメン屋の間の路地である。

<み>



新年を迎えて

平成12年1月1日 会長 田子 稔

会員の皆様 明けましておめでとうございます。本年もご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。昨年7月に始まったプロバス年度もはや半年が経過しましたが、皆様のご協力により諸事万端順調に計画どおりの進展を遂げており喜ばしい限りです。昨年は不景気のなか事件・事故の連続で暗くて腹の立つ出来事が多すぎましたが、本年は節目の2000年、辰年、登り龍の勢いで景気の回復と明るい話題の続出を期待したいものです。わがプロバスも今年度の運営方針即ち①会員間の交流の強化、②各委員会活動の充実、③南ロータリークラブとの活発な交流、④生涯学習サロンのより一層の充実の4項目について本年6月迄の半年間フル回転したいものです。特に生涯学習サロンは今までの企画段階から今月より、いよいよ実行段階に入ります。会員全員の皆様が何らかの役割を分担されることになります。是非これを成功に導く為に皆様の絶大なご協力を必要といたします。地域奉仕のための、またとないチャンスですので、何とぞお力添えを頂きたいくお願い申し上げます。

最後に年頭にあたり東京八王子プロバスクラブの益々の発展と、会員の皆様及びご家族の皆様のご健勝をお祈りしてご挨拶に代えます。

◎ 12月例会報告(司会 宮崎例会委員長)

日 時 平成11年12月9日(木)

場 所 エルシィ八王子例会場

出席者 会員42名

○ 田子会長挨拶

挨拶の中で、鈴木会員の病氣恢復を喜ぶ言葉があり、いちょう祭りに関しては会員の皆さんの協力に感謝の意を表された。

○ いちょう祭協力に関連して

◆ 大野顧問(いちょう祭祭典委員長)より

第20回いちょう祭りは大盛況のうちに終わりました。第2日目には18万人の人出があったようです。いちょう祭りの出発点は、昭和53年、当時はリストラとかその他不景気の中、町おこしで始まったことでした。

多くの方々のご協力ありがとうございました。

◆ 平原会員(いちょう祭り副会長)より

◇手形、パスポートは岡田会員に担当して頂きました。

◇ユーモア館は桂会員にお世話をいただきました。

◇モンゴル物産売店(親善教会)は宮崎会員、岡田会員にお世話いただきました。

◇安藤会員にはユーモア館でエスニック料理をご提供、清水会員にはお手伝いをして頂きましたが、今年も大変好評でした。

◇近藤会員には同じくユーモア館で抹茶席の御亭主をして頂きましたが、これも大変好評でした。

◇立川会員はボーイスカウト、ガールスカウトを率いて大活躍されました。

◇岩岡会員のグループ“ハワイアン”演奏は殊の外好評でした。

※ 以上のように本クラブから大勢の方々のご協力があったこと、あらためて感謝申し上げます。

◎ 幹事報告（北川幹事）

- 1) 移動例会中バスの車中で、手形、パスポートの販売のご協力に感謝のことばを述べた。
- 2) 新年例会は1月13日（木）、御殿山日本閣で行うが、現在参加人数は40名程だが、出来得る限り多数の方の参加を希望する。なお、新年例会当日今年度後期の会費を徴収する予定。
- 3) 南ロータリークラブ市川会員急逝のため本日同クラブからの来賓はないこととなった。

●各委員会報告

◎立川研修委員長

- 1) 11月の移動例会における協力に感謝の意を表し、会計について一部報告がなされた。
今回直前の不参加者7名については会費の返戻はせず、予め不参加を表明していた1名については返金し、1万余円の残金は本会計に繰り入れることとする。
- 2) 御殿山日本閣で行う新年例会の交通手段について、
当日八王子駅南口より17:00、17:30の2便あるも、研修委員メンバーは17:00発の便を利用されたい。
バスを利用せずに直接会場に行く方は、例会委員長に連絡されたい。
- 3) 八王子フィルハーモニー演奏会（別紙配布）に多数参加されることを希望する。

◎石井情報委員長

- 1) 八王子市広報2月1日号に、生涯学習サロンの記事が掲載される予定。

◎野口会員委員長

- 1) 新入会員との懇談会では、女性会員が少ないのではないかと、との意見に対して、理事会で審議した上で、独立（自立）して仕事をしている婦人に積極的に入会を働きかける様提言があった。

◎宮崎例会委員長

- 1) 日本閣で行われる新年特別例会の当日は八王子駅南口←→日本閣を30人乗りのバスが2往復するが、例会委員も早い方の17:00発に乗車される様希望する。

◎吉田地域奉仕委員長

- 1) 生涯学習サロンの日程表を配布するので熟読されたい。
- 2) 地域奉仕委員会は12月24日、1月27日16:00より開催するので参加されたい。

◆ 卓 話

(1) 濱野幸雄会員：私の履歴書

八王子台町で織物業を営む家に生まれましたが、次男であったためかヤンチャ、ガキ大将の子供時代でした。

昭和17年、小学校に入学、終戦の年は4年生でした。終戦直前の昭和20年8月2日未明八王子大空襲に遭って線路沿いに水道山の方に逃げ桑畑の中に避難していました。

その後、立川高校から大学に進みましたが、昭和33年卒業、関西の呉羽紡績に入社、長野県大町工場に配属され、2年間の見習いの後、昭和35年に北陸へ赴任して5年間勤務、昭和38年海外勤務を命ぜられ、エルサルバドルで5年間を過ごしました。この間に会社は東洋紡に変わっていましたが、この頃ゴルフを覚えました。

万博の年に帰国して再び大町工場に舞い戻りましたが、ここで長男誕生。またまた海外勤務、今度はキューバ。帰国して徳島、徳島から大阪本社、大阪から高岡工場へ、目まぐるしく変わりましたが、ここで終止符が打たれました。

(2) 井口禎会員：私の酒歴

もともと酒好きな私は、一升酒を飲んでいて、ところがいつごろのことか、はっきりしないが覚めた時苦しくなってきた、脈拍は100を超えている。そのようにして日本酒に異和感を感じていたころ会社の出張で宮崎へ、そこで焼酎の牛乳割りを飲んだところ翌朝すっきりしている。酒は51年ごろより63年ごろまでよく飲んでしたが、その後は焼酎一本やりであるが、健康上よいように思う。私の勤務していた会社は、製紙用の金網をつくっている会社で、日本では独占的なシェアを持つ会社であった。そのため、ずいぶん交際と接待のお酒を飲んだものです。

◎ その他

石田会員より

(イ) 過日行われました介護保険フォーラムは大変な好評で盛会のうちに終わりました。みなさんには大変なご協力をいただきましてありがとうございました。

(ロ) 日本性科学学会からのアンケートのお願い

現在も、また将来にわたって高齢化社会が続きますが、長い老齢の期間夫婦の助け合いや、いたわり合いが特に大切になってきます。

今回、性の問題を中心として、40代～70代のご夫婦にご協力願ってアンケートをとりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

◎ プロバスソング

◎ 閉会

● 囲碁大会てんまつ記

プロバスクラブの初めての囲碁大会が12月16日、大野さんの事務所で行われました。腕に覚えのある面々10人が参加。和気あいあいながら、密かに負けるものかの意気込みで、それぞれが日頃磨いた腕を発揮しました。

今までお互いがほとんど対戦したことがなく、初めての顔合わせなので、試合のやり方を工夫しました。ルールは自己申告制の段・級位を基にした持ち点で、勝ち負けで増減する方式とし、力が拮抗するようにしました。

組合せ抽選の後、戦前の予想は全く見当がつかないまま、試合に入りました。各人が3回対戦した結果、関戸さんが3戦とも圧勝し、プロバスクラブ優勝カップを獲得、2位には実力を発揮した同じ3勝の下山さん、3位には堅実な試合をした今田さんが入りました。

今大会には八王子南ロータリークラブの和田さんにも参加願い、大会を盛り上げて頂きました。また会長の田子さんには表彰式に立ち会っていただき、大会に花を添えて頂きました。

初めての大会にしては、非常に盛り上がり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。幹事としても、嬉しい限りでした。

最後になりましたが、会場を提供して下さいました大野さん、お世話くださいました大野さんの奥様に改めてお礼を申し上げます。

(吉田記)

ふくろう「梟」と私 ——趣味の効用実話——

長町幸雄

梟は不思議なイメージを持った鳥である。古代ギリシャ時代にはアテナイ市の守護神アテネの従者とみなされ、知性と学芸を象徴する鳥であった。このイメージは現在も世界各地で受け継がれ、英知や神と崇められ、日本でも、古くから福の神、学問の神、文化のシンボルとしての地位を占めて親しまれてきた鳥である。日本では読書週間のシンボルマークや「ふみの日」の切手に図案化されたこともある。梟は、灰皿、壁掛け、柱時計、ペーパーナイフ、ビールの栓抜きなどの商品となって世界中の骨董品店やみやげ物店に飾られている不思議な「鳥」とも言えよう。

● なぜ梟と私なのか？

私が子供の頃に住んでいた生家（八王子市元横山町地内）の両隣に、妙薬寺と帰西寺という寺があった。前者は大きな森の中にあり、深夜などにこの森に巣を構えた梟の鳴き声を聞いて育った記憶がある。腕白時代から、すずめやからすなどとは違った“梟に対する感傷”を持ち続け、闇夜でみた「光る目」、「特徴のある鳴き声」を耳にしながら寝た子供の頃の神秘的な記憶が、群馬大学の医学生になってからよみがえった。医師となって、学会などで国内・国外各地を旅行する機会が増え、みやげ物店などで買い求めた木彫りや土器、ネクタイ、カフスボタン、果てはビールの栓抜きなどのコレクションの数は、定年退官の頃には700点を優に超える程になった。

本稿では、諺にみる梟の意味と己の趣味を結び付け、これを現役時代の外科学教室運営に応用して話題を呼んだ頃のエピソードを披露してみたい。

● ふくろうドクターの誕生とその行状記

私の群馬大学付属病院長時代の1996年、発行部数5万部で知られる医療関係誌（大塚薬報）の内容にMY HOBBY欄が新連載され、その3月号にふくろう「梟」と私が掲載されて話題を呼んだ。これがきっかけとなり、マスコミでも「私と梟の話題」がとりあげられ、週間文春（1996年9月6日号）の連載欄「読むクスリ」にとりあげられ、この記事は文芸春秋刊の単行本「読むクスリ」（上前淳一郎著、1997年6月10日発行）の中でもふくろうドクターとして紹介された。内容の一部を抜粋し、私の梟趣味がなぜ本業の医療に役立ったのか？紹介してみたい。「私は病院で着る白衣の胸にふくろうのマークをつけています」と群馬大学医学部付属病院長の長町幸雄さん。「私だけでなく、教室員はみな、ふくろうマークの白衣です。梟軍団ですね」軍団長の長町教授を入院患者たちが“ふくろうドクター”と呼ぶまで、マークはおなじみになった。「白衣の胸に目立つマークをつける利点は、泥棒が病棟に入り込めない、ということです」病院は泥棒にとって仕事しやすい場所なのだそう。解放的で簡単に入れるし、白衣を着て医師になりすませば怪しまれない。その上患者は無防備だから枕元の財布や貴重品を持ち去るのはやさしい。「同時に外科病棟の入り口や廊下などに貼り紙したんです」こう書いてある。「当科の医師は、全員胸に梟マークのついた白衣を着用しております。最近白衣を着用した人による盗難がはやっています。ご承知のうえご注意ください」患者はマークの意味を知って安心する。泥棒もこの貼紙を見たら、こそこそ逃げ出すに違いない。「おかげでこの十年間、第一外科病棟では一件も盗難事件が起きていません。梟は病室の守護神なのですよ」「梟がそばにいと、なぜか安心なんです。ですからぼくは梟（FUKURO）じゃなくてお袋（O-FUKURO）と呼んでいます」ただ困ったことが一つある。「第一外科では教室員を夜遅くまで働かせるから、梟なんだろう、と親しい友人からからかわれるのですよ」……医療はnight & dayで油断なく、常に患者の側で（医師は居る）。ふくろうドクターのたわごとはこの辺に止め、改めて狩人としての梟の特徴や身体的合理性などを卓話などで御紹介したい。